

多可町 子ども・子育て支援新制度における
ニーズ調査

【結果報告書】

平成 25 年 11 月

多 可 町

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果	3
1 多可町のこれからの子ども・子育てについて.....	4
2 お住まいの地域について.....	8
3 お子さんご家族の状況について	9
4 子どもの育ちをめぐる環境について	12
5 保護者の就労状況について.....	17
6 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	25
7 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）	33
8 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望について（就学前児童）	35
9 放課後児童クラブの利用状況について（小学生児童）	39
10 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	49
11 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）	55
12 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）	60
13 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）	66

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 25 年度に行う「子ども・子育て支援事業計画」（後期計画）の策定資料として、保育ニーズや多可町の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、町民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：多可町全域
- 調査対象者：多可町内在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
多可町内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 調査期間：平成 25 年 9 月 19 日（木）～平成 25 年 10 月 4 日（金）
- 調査方法：幼稚園・保育園・キッズランド・小学校を通じた直接配付・回収
就学前児童のうち、未就園の児童は郵送による配付・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	692	497	71.8%
小学生児童	907	829	91.4%
合計	1,599	1,326	82.9%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

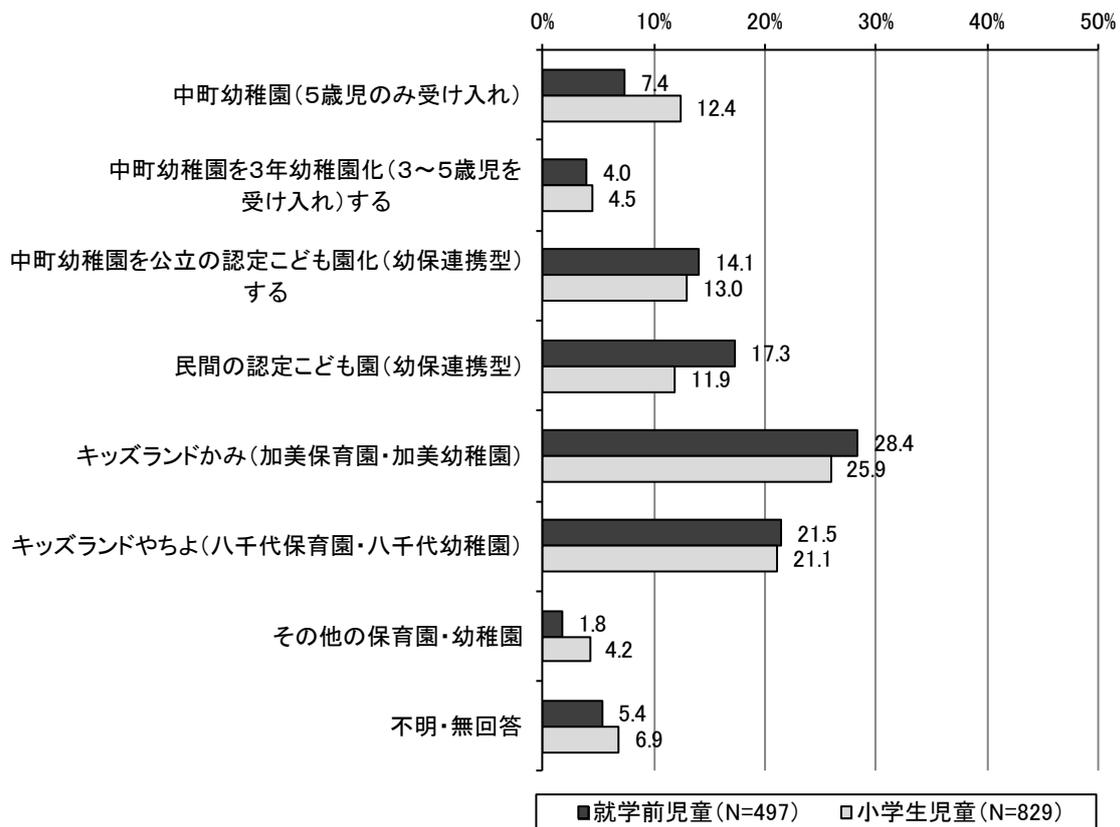
Ⅱ. 調査結果

(就学前児童調査・小学生児童調査)

1 多可町のこれからの子ども・子育てについて

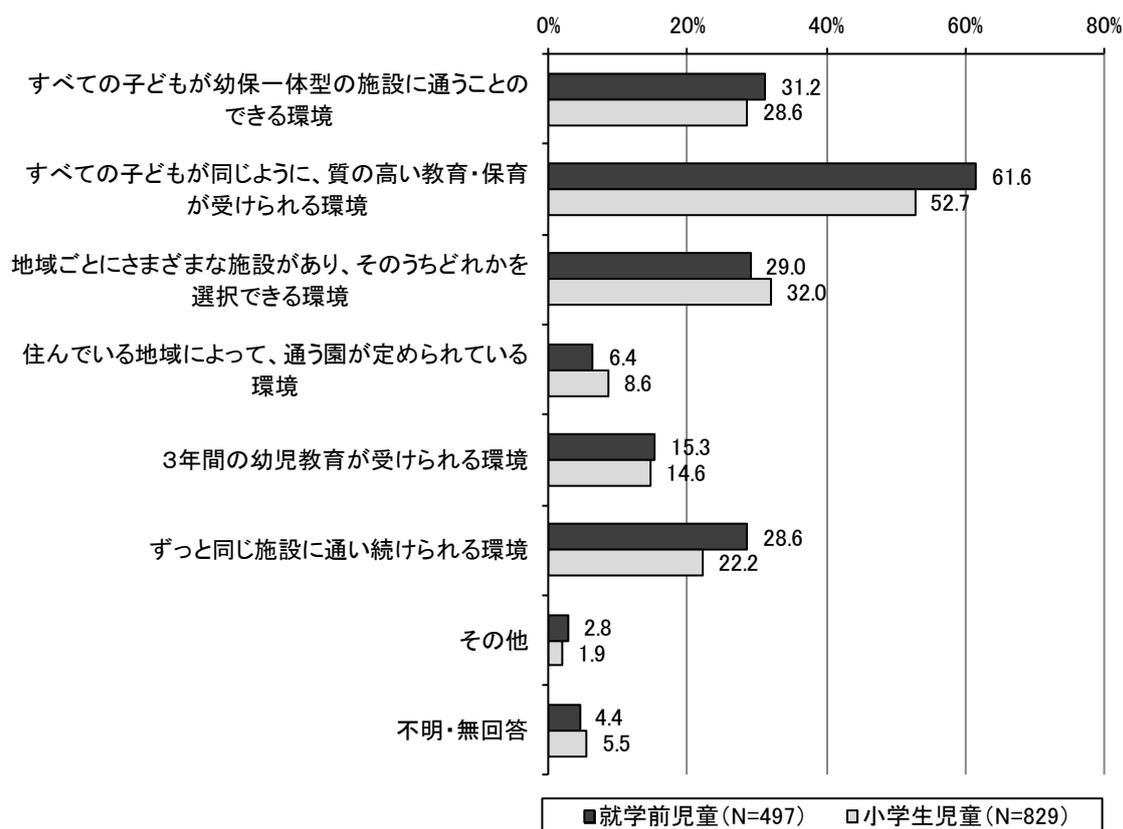
(1) 子どもを通わせたい施設〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

子どもを通わせたい施設についてみると、「キッズランドかみ」が就学前児童で28.4%、小学生児童で25.9%と最も高く、次いで、「キッズランドやちよ」が就学前児童で21.5%、小学生児童で21.1%となっています。



(2) 長期的にみて、多可町ではどのような教育・保育環境を整備していくべきか〈複数回答…3つまで〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

長期的な多可町の教育・保育環境の整備についてみると、「すべての子どもが同じように、質の高い教育・保育が受けられる環境」が就学前児童で 61.6%、小学生児童で 52.7%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「すべての子どもが幼保一体型の施設に通うことのできる環境」が 31.2%、小学生児童では「地域ごとにさまざまな施設があり、そのうちどれかを選択できる環境」が 32.0%となっています。

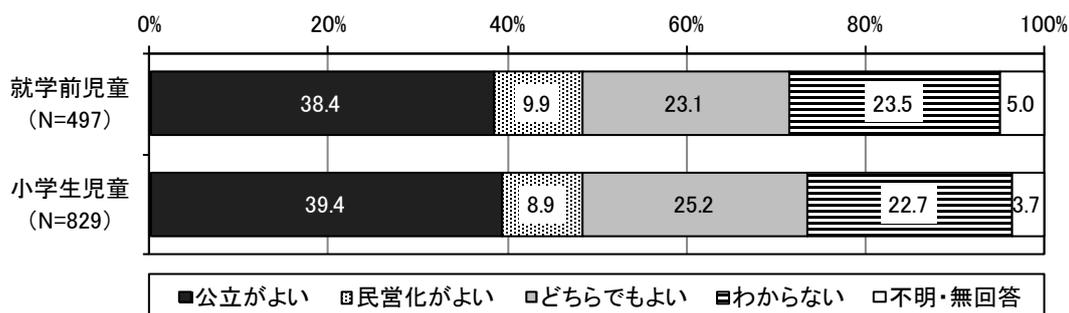


(3) キッズランド（かみ、やちよ）の民営化についてどう考えるか〈単数回答〉

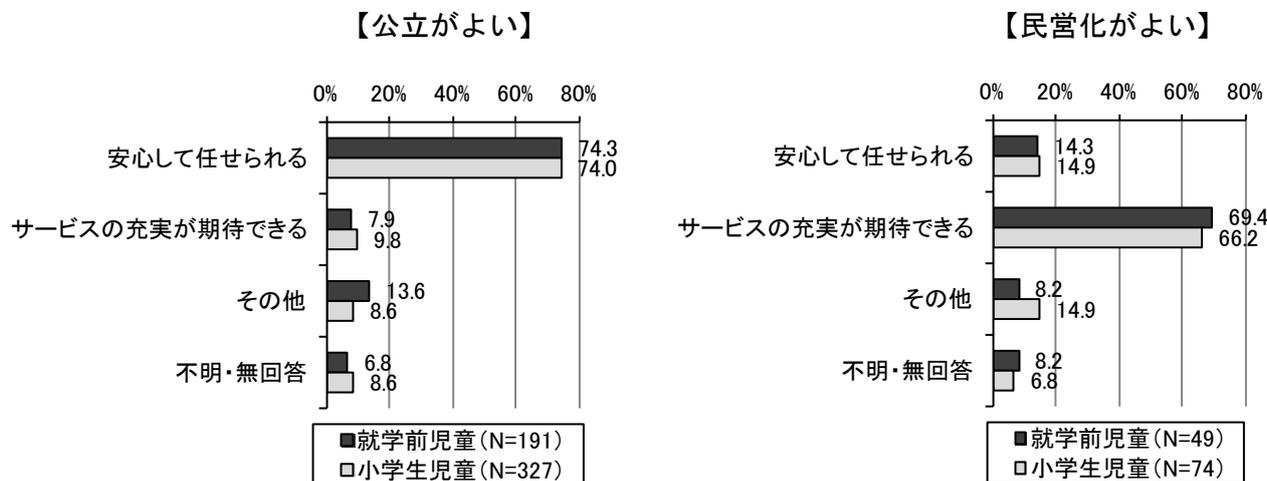
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

キッズランド（かみ、やちよ）の民営化をどう考えるかについてみると、「公立がよい」が就学前児童で 38.4%、小学生児童で 39.4%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「わからない」が 23.5%、小学生児童では「どちらでもよい」が 25.2%となっています。

『公立がよい』または『民営化がよい』を選んだ理由についてみると、『公立がよい』では「安心して任せられる」が就学前児童で 74.3%、小学生児童で 74.0%と最も高くなっています。一方、『民営化がよい』では、「サービスの充実が期待できる」が就学前児童で 69.4%、小学生児童で 66.2%と最も高くなっています。



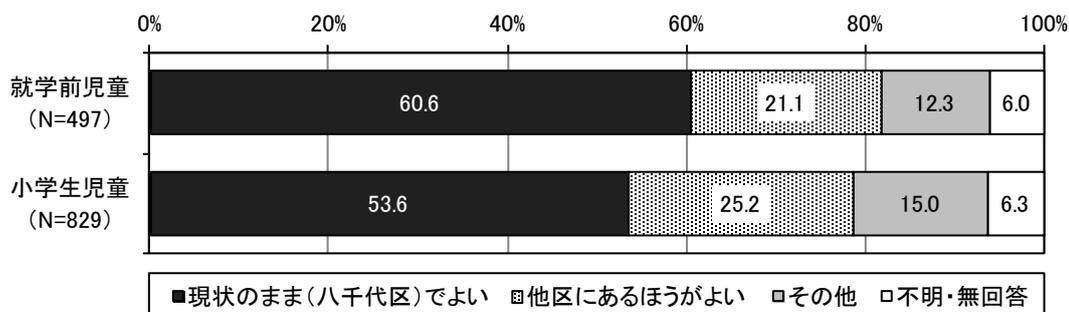
◎ 「公立がよい」または「民営化がよい」を選んだ理由〈単数回答〉



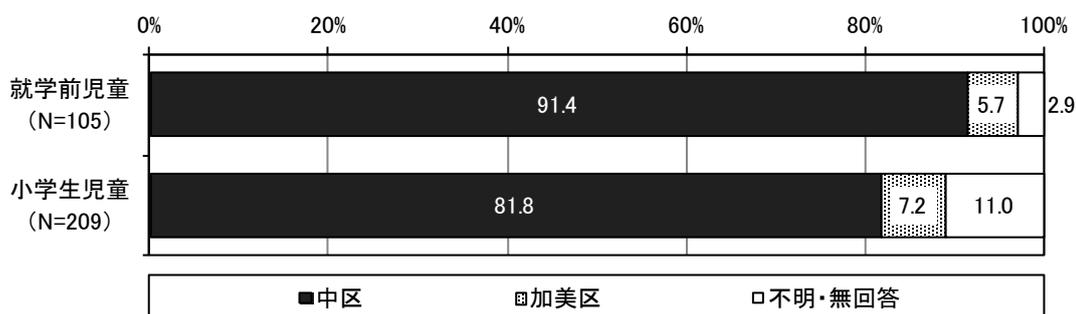
(4) 現在、八千代地区にある子育てふれあいセンターが、どの区にあるのが望ましいと思うか〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

子育てふれあいセンターがどの区にあるのが望ましいと思うかについてみると、「現状のまま（八千代区）でよい」が就学前児童で60.6%、小学生児童で53.6%と最も高くなっています。

子育てふれあいセンターが『他区にあるほうがよい』を選んだ方では、「中区」が就学前児童で91.4%、小学生児童で81.8%と最も高く、大部分を占めています。



① 「他区にあるほうがよい」を選んだ方〈単数回答〉

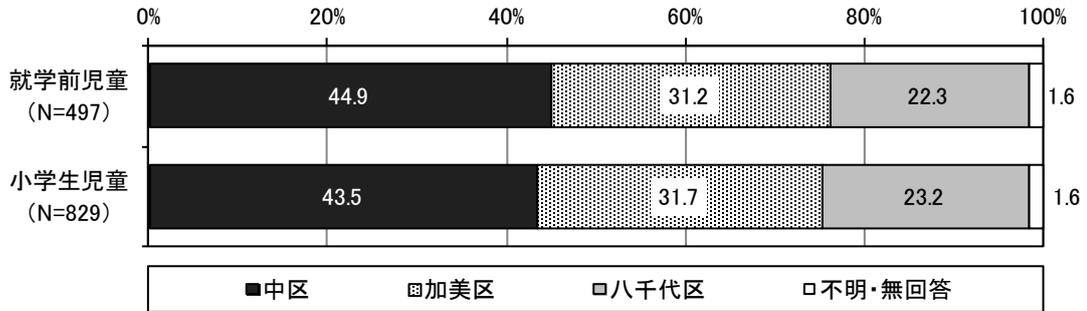


② 「他区にあるほうがよい」を選んだ理由〈自由回答〉

2 お住まいの地域について

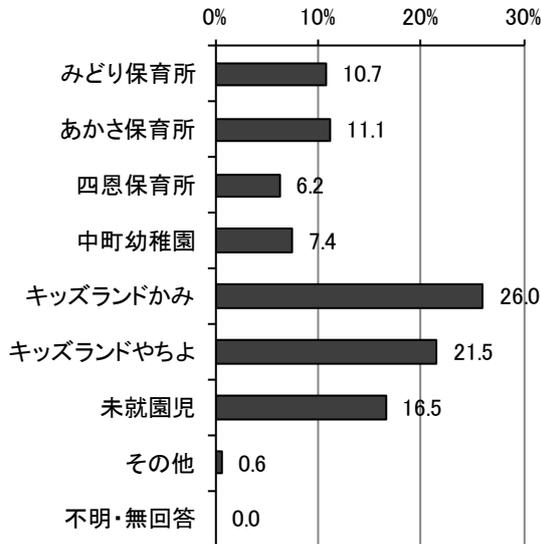
(1) 居住地区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

居住地区についてみると、「中区」が就学前児童で44.9%、小学生児童で43.5%と最も高くなっています。



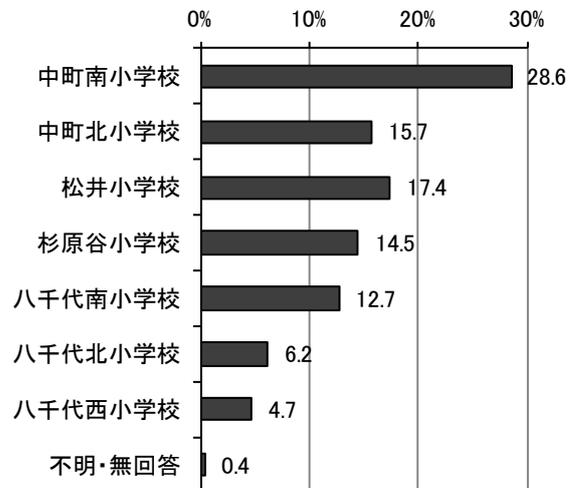
■ 事業所別内訳 (就学前児童)

就学前児童 (N=497)



■ 小学校区別内訳 (小学生児童)

小学生児童 (N=829)



3 お子さんご家族の状況について

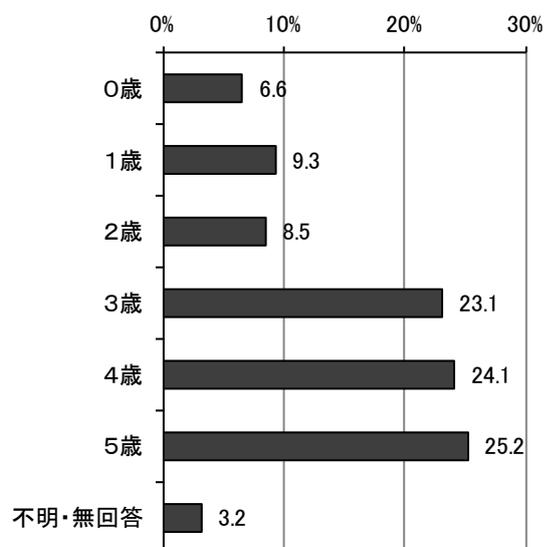
(1) 対象の子どもの年齢と学年（平成25年4月1日現在）〈数量回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

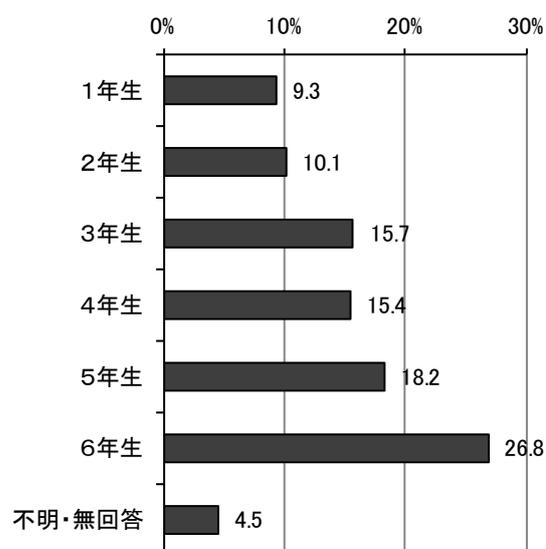
年齢についてみると、5歳が25.2%、4歳が24.1%、3歳が23.1%となっています。

学年についてみると、6年生が26.8%、5年生が18.2%、3年生が15.7%となっています。

就学前児童(N=497)



小学生児童(N=829)

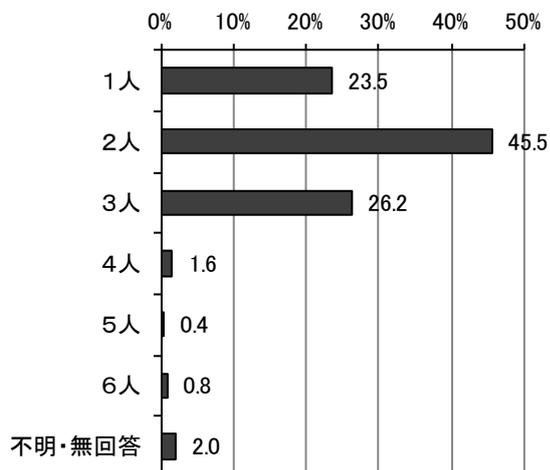


(2) 子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問7〕

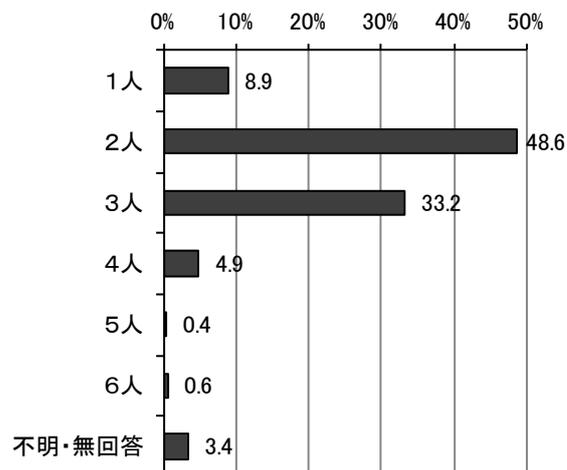
子どもの人数についてみると、「2人」が就学前児童で45.5%、小学生児童で48.6%と最も高く、次いで、「3人」が就学前児童で26.2%、小学生児童で33.2%となっています。

子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「0歳」から「5歳」まで1割となっています。小学生児童では「6歳」、「11歳」が1割となっています。

就学前児童(N=497)

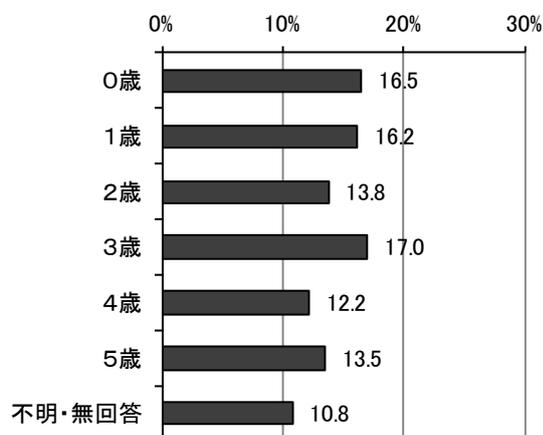


小学生児童(N=829)

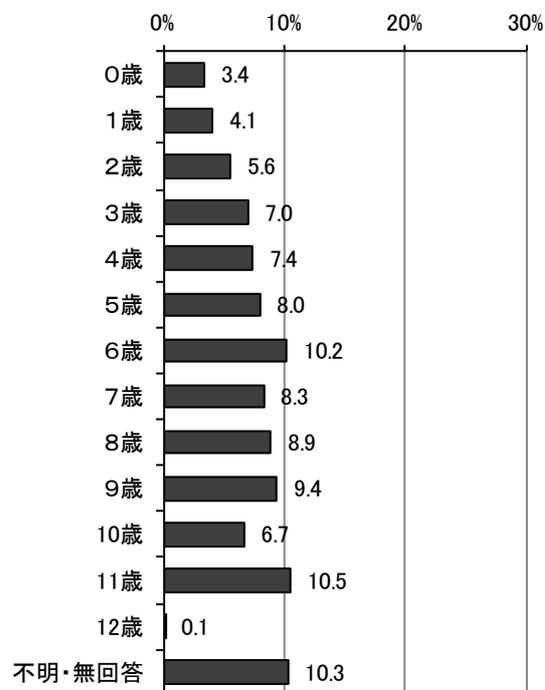


◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢（平成25年4月1日現在）〈数量回答〉

就学前児童(N=370)

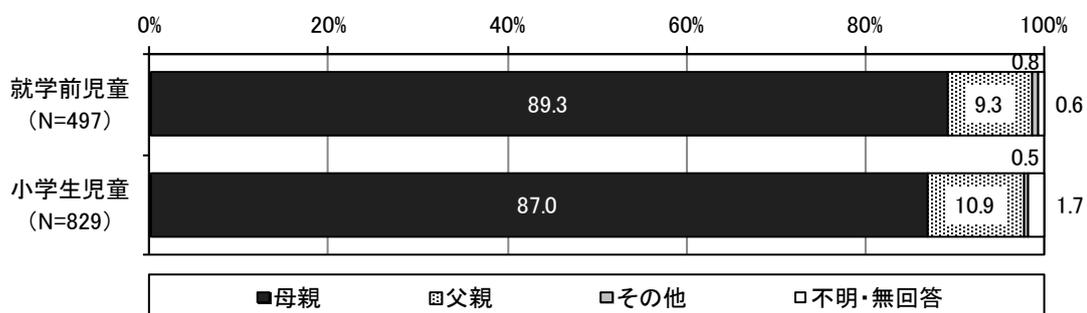


小学生児童(N=727)



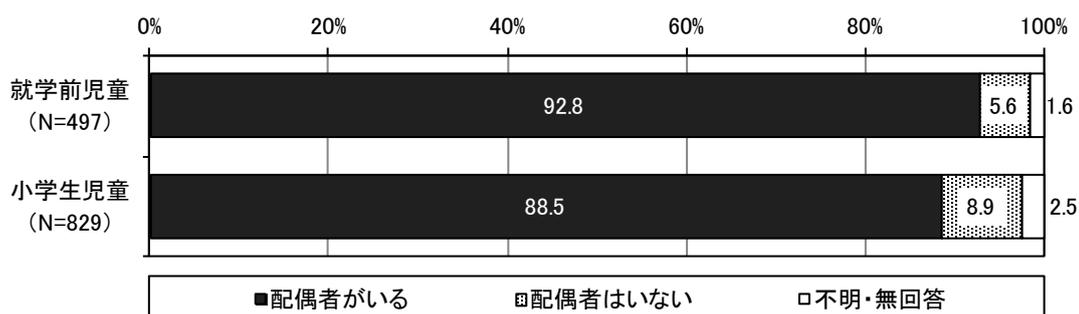
(3) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問8〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で89.3%、小学生児童で87.0%と最も高く、大部分を占めています。



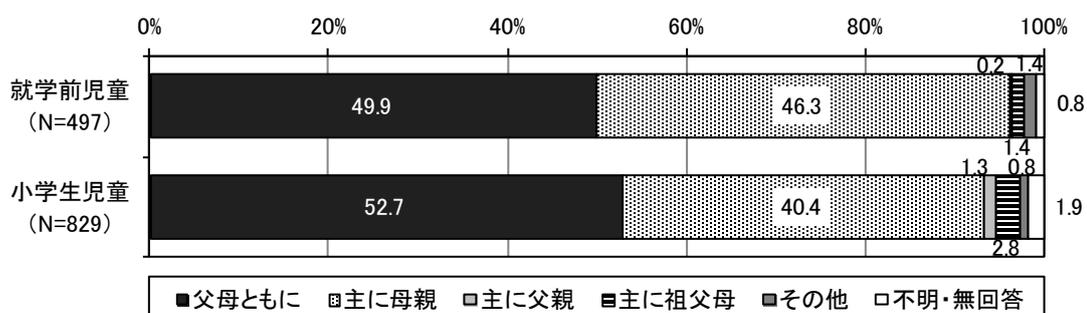
(4) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で92.8%、小学生児童で88.5%となっています。



(5) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問10〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で49.9%、小学生児童で52.7%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で46.3%、小学生児童で40.4%となっています。



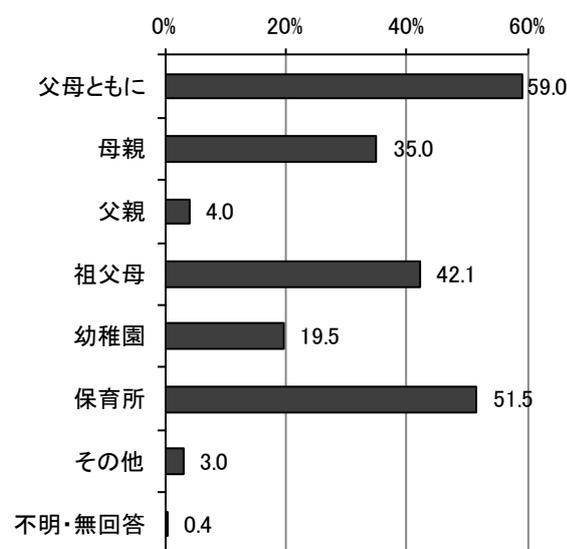
4 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉

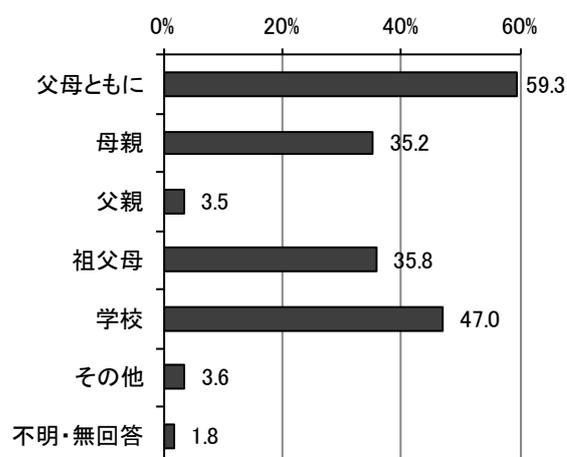
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 11〕

子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、「父母ともに」が就学前児童で59.0%、小学生児童で59.3%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「保育所」が51.5%、小学生児童では「学校」が47.0%となっています。

就学前児童(N=497)



小学生児童(N=829)

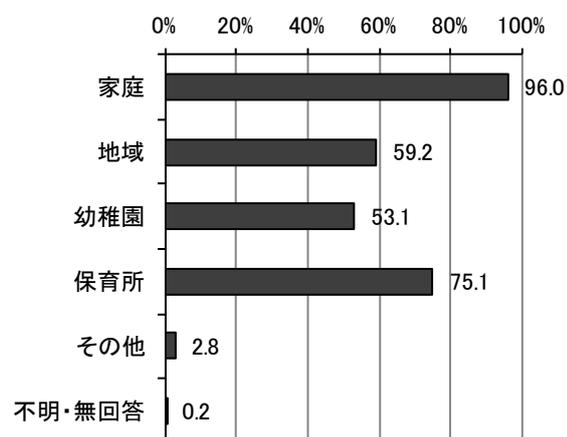


(2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

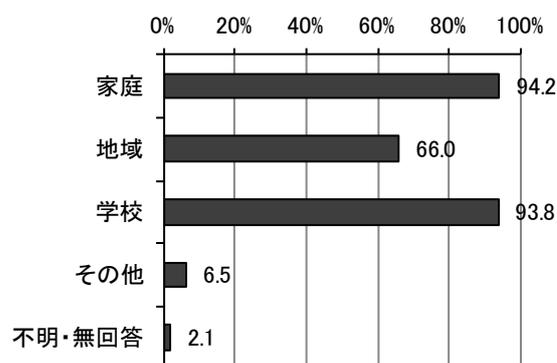
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 12〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が就学前児童で96.0%、小学生児童で94.2%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「保育所」が75.1%、小学生児童では「学校」が93.8%となっています。

就学前児童(N=497)



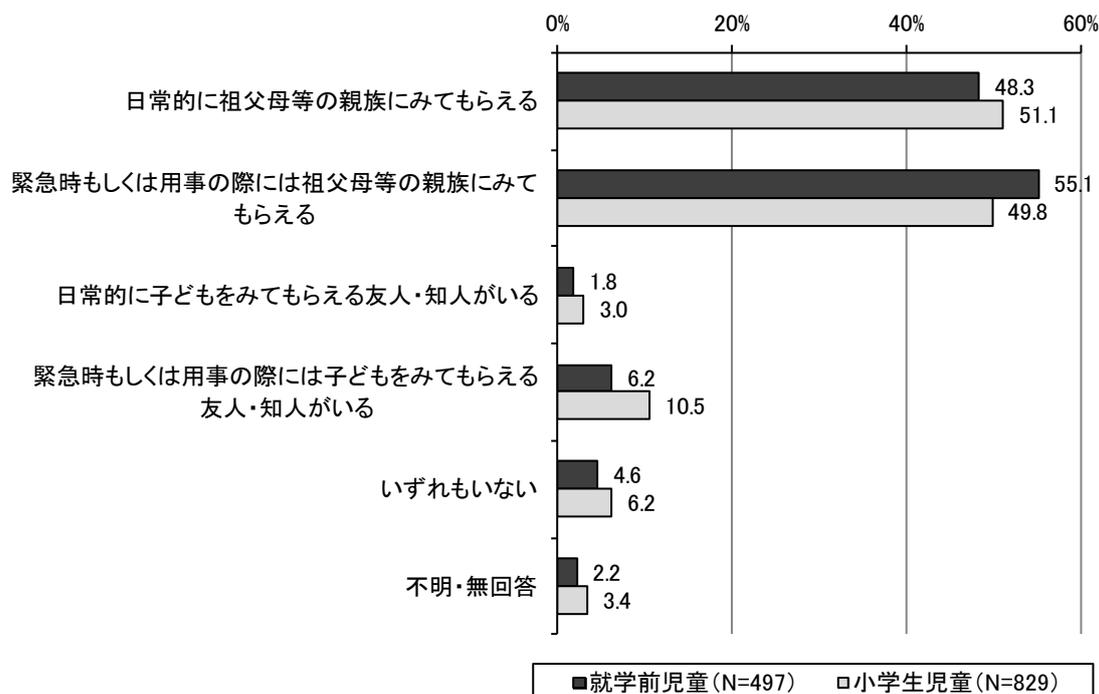
小学生児童(N=829)



(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問13〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、就学前児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が48.3%となっています。一方、小学生児童では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が51.1%と最も高く、次いで、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が49.8%となっています。

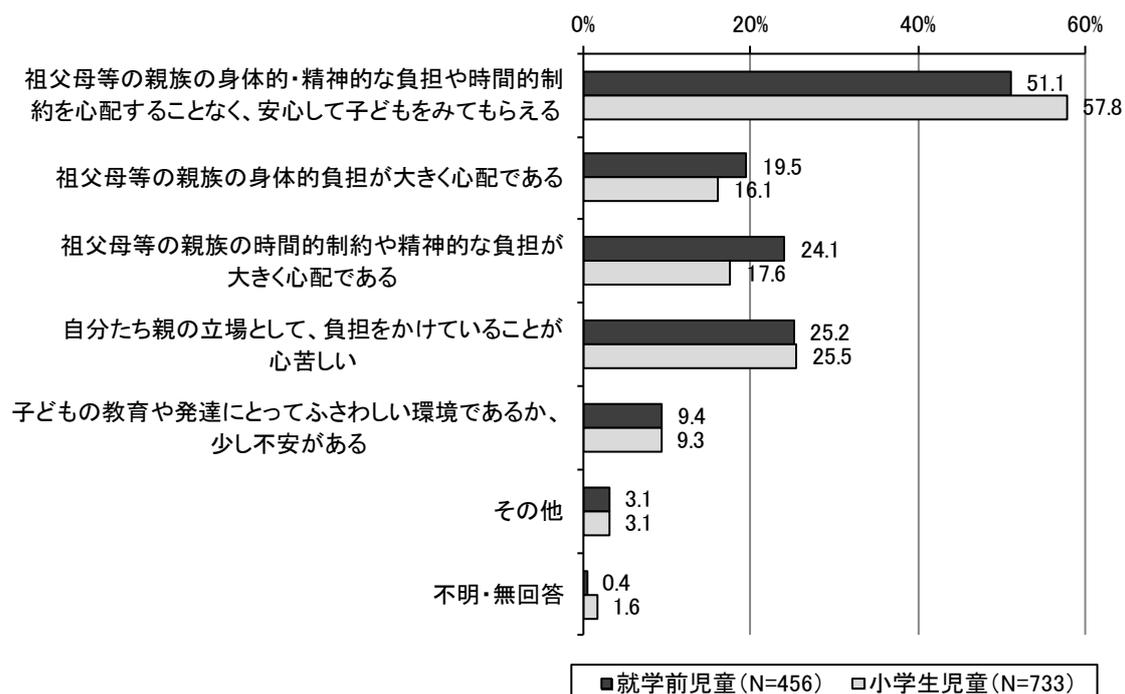


(3)で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(3)－1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問13-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で51.1%、小学生児童で57.8%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で25.2%、小学生児童で25.5%となっています。

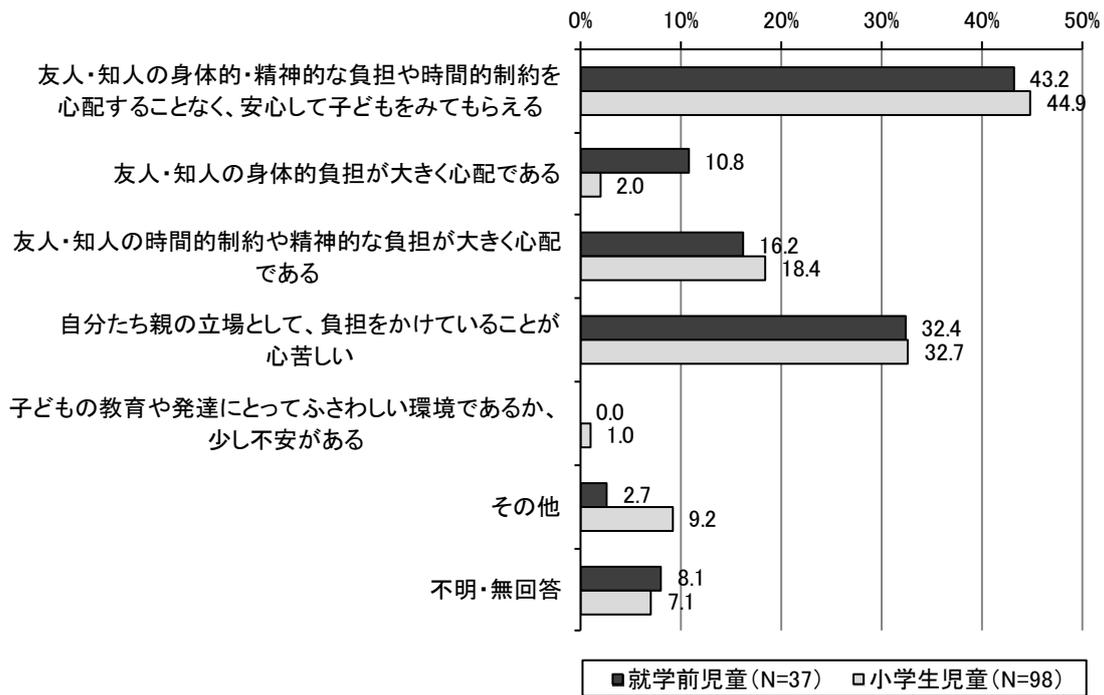


(3)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

(3)－2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 13－2〕

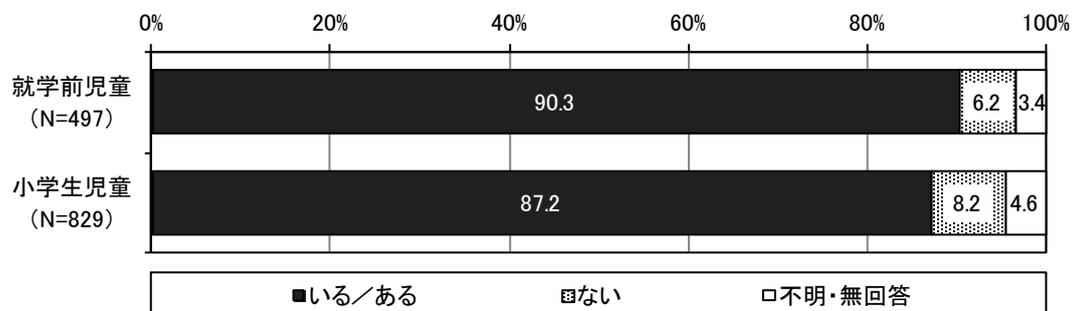
友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で 43.2%、小学生児童で 44.9%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で 32.4%、小学生児童で 32.7%となっています。



(4) 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 14〕

子育てをする上での相談相手(場所)の有無についてみると、「いる／ある」が就学前児童で 90.3%、小学生児童で 87.2%となっています。



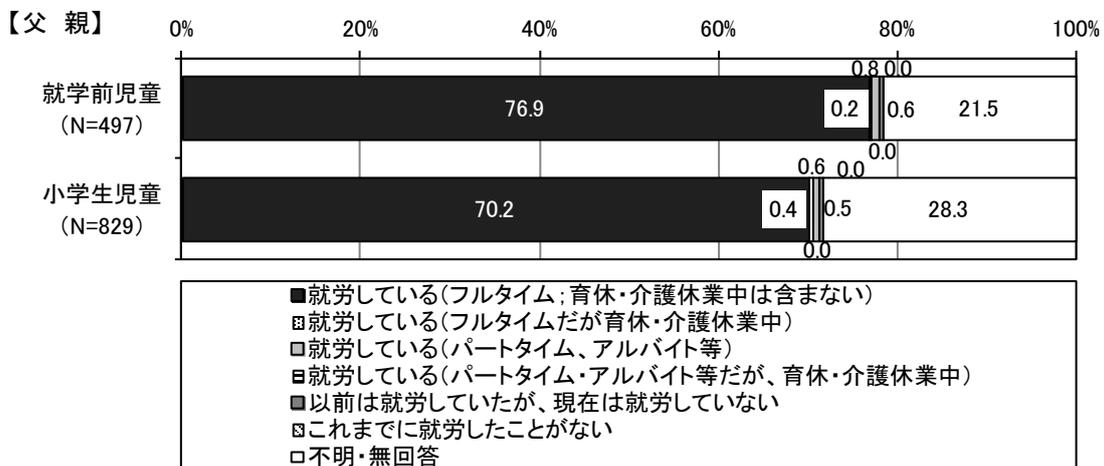
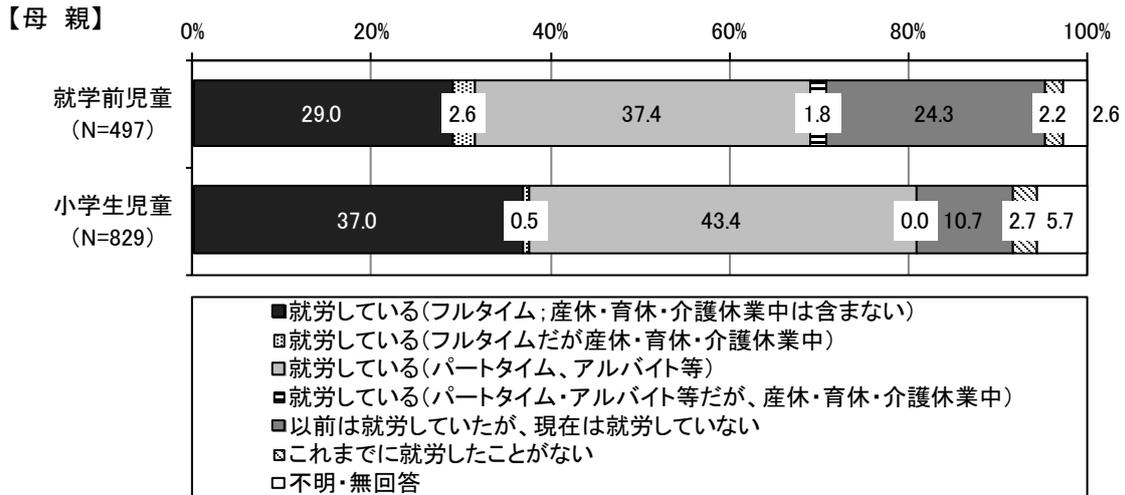
(5) 子育てをする上で、周囲からあればよいと思うサポート〈自由回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 15〕

5 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 18、小学生児童調査…問 16〕

保護者の就労状況についてみると、母親では「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が就学前児童で37.4%、小学生児童で43.4%と最も高くなっています。父親では「就労している（フルタイム；産休・介護休業中は含まない）」が就学前児童で76.9%、小学生児童で70.2%と最も高くなっています。



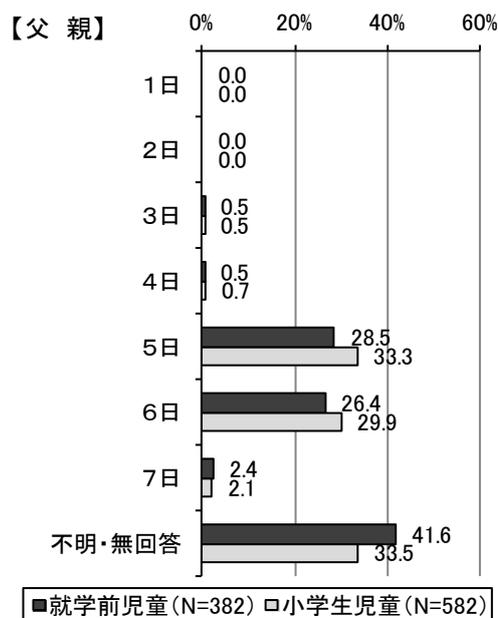
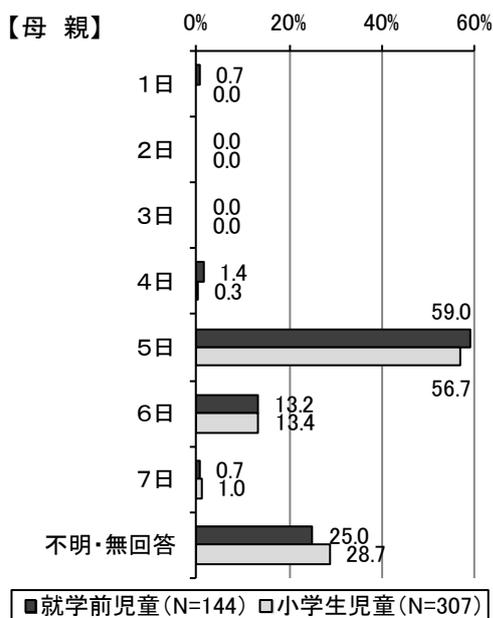
* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

●フルタイムで就労している保護者の状況

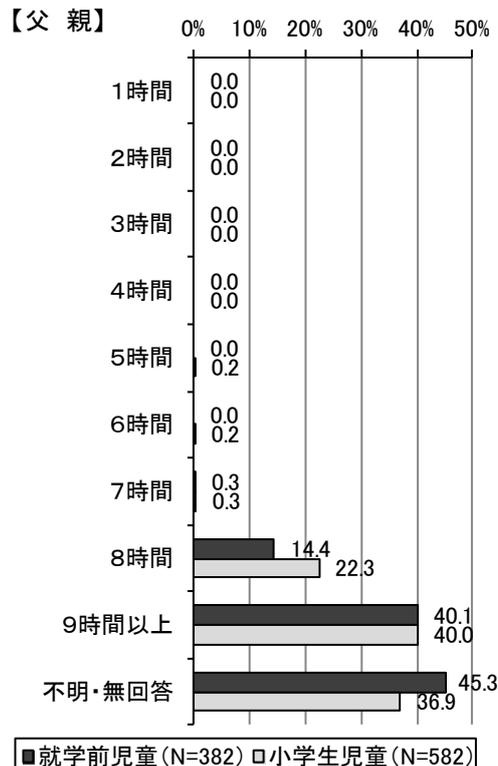
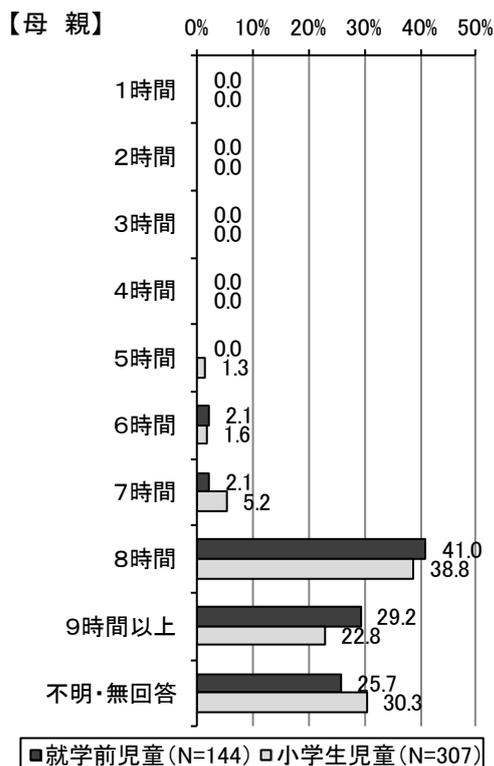
フルタイムで就労している保護者の状況についてみると、1週あたりの就労日数では、就学前児童、小学生児童の母親、父親ともに「5日」の割合が最も高く、特に母親では5割を超えています。

1日あたりの就労時間では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「8時間」、父親では「9時間以上」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

① 1週あたりの就労日数・フルタイム〈数量回答〉



② 1日あたりの就労時間・フルタイム〈数量回答〉



出発時間では、就学前児童、小学生児童の母親、父親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「17～18時」、父親では「19～20時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

③出発時間・フルタイム〈数量回答〉

【母親】 出発時間	就学前児童 (N=144)		小学生児童 (N=307)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	3	1.0
7～8時	101	70.1	181	59.0
9～10時	3	2.1	26	8.5
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	0	0.0	1	0.3
15～16時	0	0.0	0	0.0
17～18時	0	0.0	0	0.0
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	40	27.8	96	31.3

【父親】 出発時間	就学前児童 (N=382)		小学生児童 (N=582)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	3	0.5
3～4時	4	1.0	5	0.9
5～6時	25	6.5	58	10.0
7～8時	168	44.0	275	47.3
9～10時	10	2.6	24	4.1
11～12時	0	0.0	1	0.2
13～14時	0	0.0	1	0.2
15～16時	2	0.5	1	0.2
17～18時	1	0.3	0	0.0
19～20時	1	0.3	1	0.2
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	1	0.2
不明・無回答	171	44.8	212	36.4

④帰宅時間・フルタイム〈数量回答〉

【母親】 帰宅時間	就学前児童 (N=144)		小学生児童 (N=307)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	0	0.0	0	0.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	3	2.1	8	2.6
17～18時	73	50.7	121	39.4
19～20時	27	18.8	70	22.8
21～22時	1	0.7	11	3.6
23～24時	0	0.0	1	0.3
不明・無回答	40	27.8	96	31.3

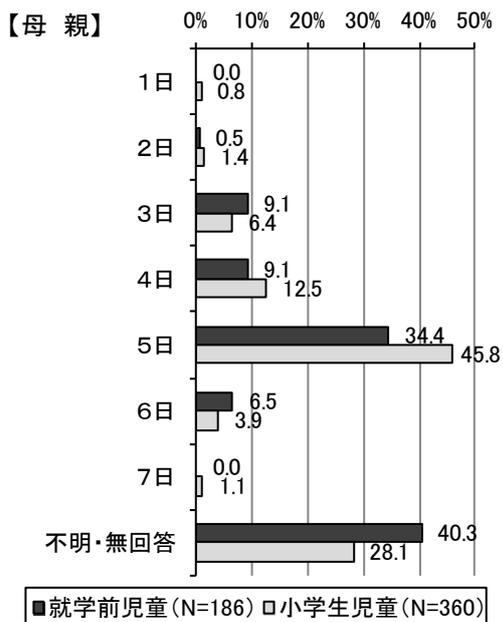
【父親】 帰宅時間	就学前児童 (N=382)		小学生児童 (N=582)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	2	0.3
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	1	0.3	2	0.3
7～8時	0	0.0	2	0.3
9～10時	2	0.5	3	0.5
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	1	0.3	2	0.3
15～16時	0	0.0	4	0.7
17～18時	51	13.4	103	17.7
19～20時	104	27.2	174	29.9
21～22時	39	10.2	64	11.0
23～24時	9	2.4	11	1.9
不明・無回答	175	45.8	215	36.9

●パートタイム・アルバイト等で就労している保護者の状況

パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況についてみると、1週あたりの就労日数では、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5日」が最も高く、父親では就学前児童で「6日」、小学生児童で「5日」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

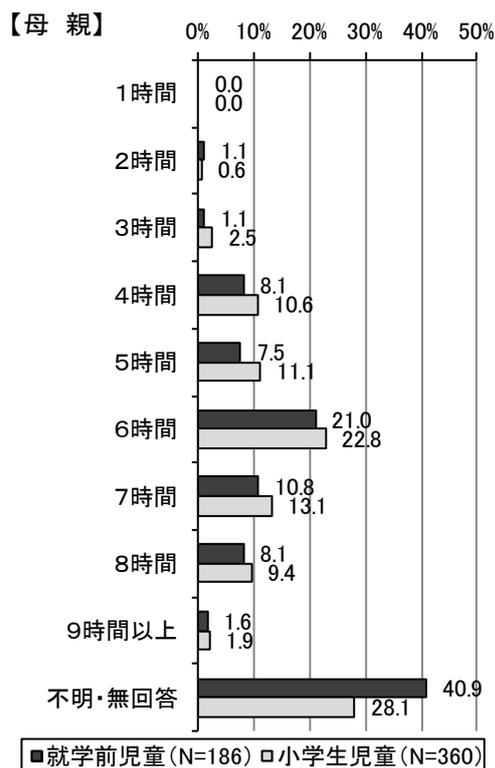
1日あたりの就労時間では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「6時間」、父親では「8時間」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

① 1週あたりの就労日数・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労日数	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	3	60.0
6日	3	75.0	2	40.0
7日	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	25.0	0	0.0

② 1日あたりの就労時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労時間	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	0	0.0	0	0.0
4時間	0	0.0	0	0.0
5時間	0	0.0	0	0.0
6時間	0	0.0	2	40.0
7時間	0	0.0	0	0.0
8時間	2	50.0	3	60.0
9時間以上	1	25.0	0	0.0
不明・無回答	1	25.0	0	0.0

出発時間では、就学前児童、小学生児童の母親、父親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間では、就学前児童、小学生児童の母親・父親ともに「17～18時」の割合が最も高くなっています。

③出発時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

【母親】 出発時間	就学前児童 (N=186)		小学生児童 (N=360)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	2	1.1	1	0.3
5～6時	1	0.5	1	0.3
7～8時	67	36.0	162	45.0
9～10時	35	18.8	72	20.0
11～12時	1	0.5	6	1.7
13～14時	1	0.5	3	0.8
15～16時	1	0.5	1	0.3
17～18時	0	0.0	0	0.0
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	78	41.9	114	31.7

【父親】 出発時間	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	1	25.0	0	0.0
7～8時	2	50.0	5	100.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	0	0.0	0	0.0
17～18時	0	0.0	0	0.0
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	25.0	0	0.0

④帰宅時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

【母親】 帰宅時間	就学前児童 (N=186)		小学生児童 (N=360)	
	件数	%	件数	%
1～2時	1	0.5	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	0	0.0	0	0.0
9～10時	1	0.5	0	0.0
11～12時	1	0.5	6	1.7
13～14時	14	7.5	35	9.7
15～16時	34	18.3	88	24.4
17～18時	51	27.4	103	28.6
19～20時	2	1.1	10	2.8
21～22時	1	0.5	2	0.6
23～24時	0	0.0	1	0.3
不明・無回答	81	43.5	115	31.9

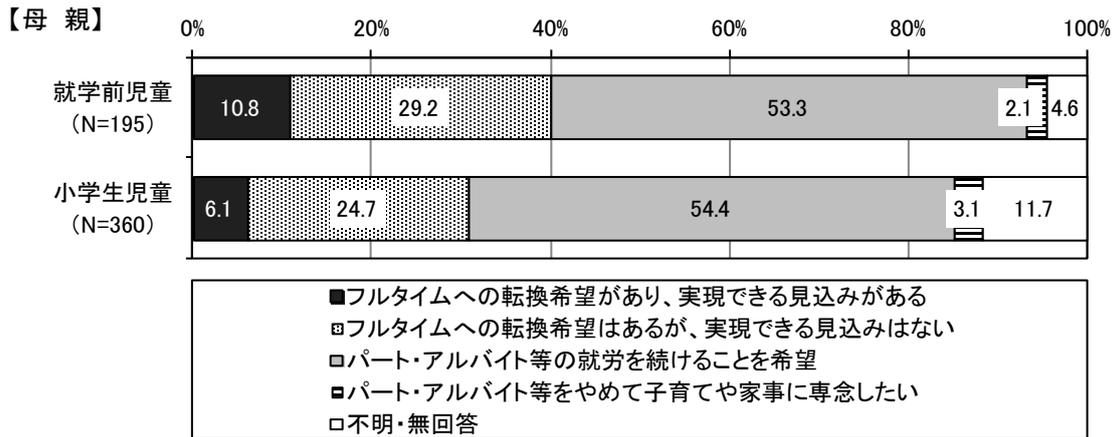
【父親】 帰宅時間	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	0	0.0	0	0.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	0	0.0	1	20.0
17～18時	3	75.0	4	80.0
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	25.0	0	0.0

(1)で「就労している(パートタイム、アルバイト等)」または「就労している(パートタイム・アルバイト等だが、育休・介護休業中)」を選んだ方

(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 19、小学生児童調査…問 17〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で53.3%、小学生児童で54.4%と最も高くなっています。



【父親】 フルタイムへの転換希望	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	25.0	0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0	1	20.0
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	1	25.0	3	60.0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	50.0	1	20.0

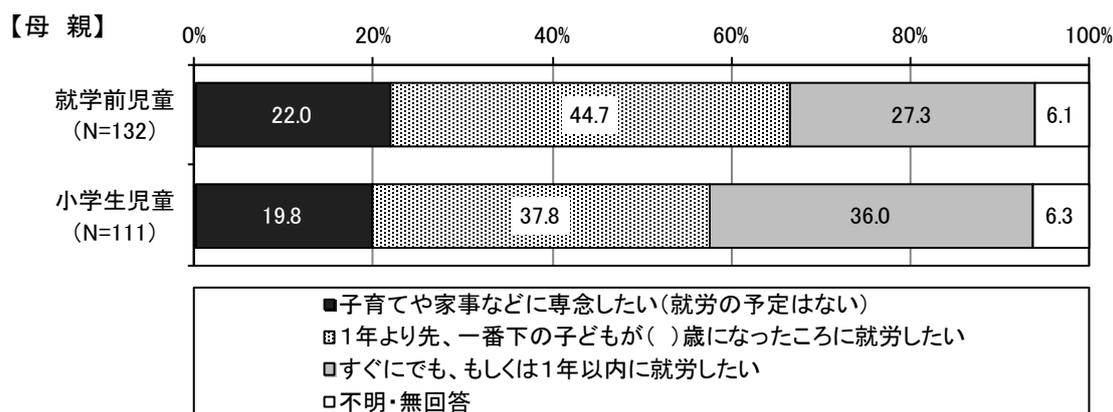
(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選んだ方

(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 20、小学生児童調査…問 18〕

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が就学前児童で 44.7%、小学生児童で 37.8%と最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、母親では「3歳」が就学前児童で 42.4%、小学生児童で 21.4%と最も高くなっています。



【父親】 就労希望	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=4)	
	件数	%	件数	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0	0	0.0
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	0	0.0	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	100.0	3	75.0
不明・無回答	0	0.0	1	25.0

①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」を選んだ方》

※【父親】

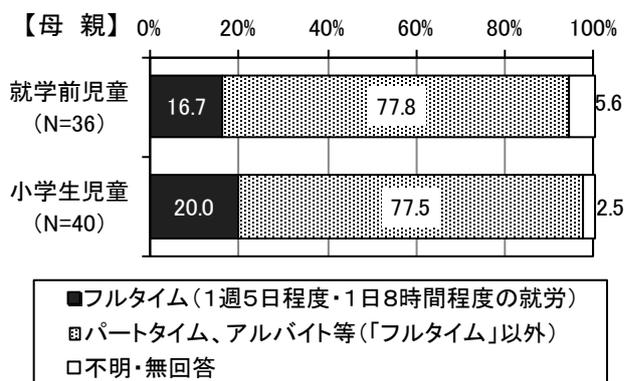
就学前児童・小学生児童ともに回答はありませんでした。

【母親】 就労したい時の 末子の年齢	就学前児童 (N=59)		小学生児童 (N=42)	
	件数	%	件数	%
1歳	6	10.2	1	2.4
2歳	5	8.5	1	2.4
3歳	25	42.4	9	21.4
4歳	6	10.2	1	2.4
5歳	2	3.4	3	7.1
6歳	4	6.8	5	11.9
7歳	3	5.1	1	2.4
8歳	3	5.1	3	7.1
9歳	0	0.0	1	2.4
10歳	2	3.4	3	7.1
11歳	0	0.0	0	0.0
12歳	0	0.0	5	11.9
13歳以上	1	1.7	6	14.3
不明・無回答	2	3.4	3	7.1

『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が就学前児童で77.8%、小学生児童で77.5%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週あたりの就労日数については、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5日」の割合が最も高くなっています。希望する1日あたりの就労時間では、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5時間」の割合が最も高くなっています。

②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》

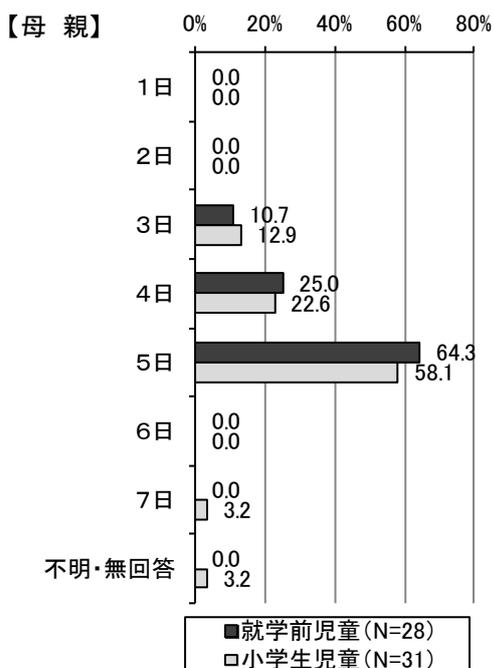


【父親】 希望する就労形態	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=3)	
	件数	%	件数	%
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	2	66.7	3	100.0
パートタイム、アルバイト等 (「フルタイム」以外)	1	33.3	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

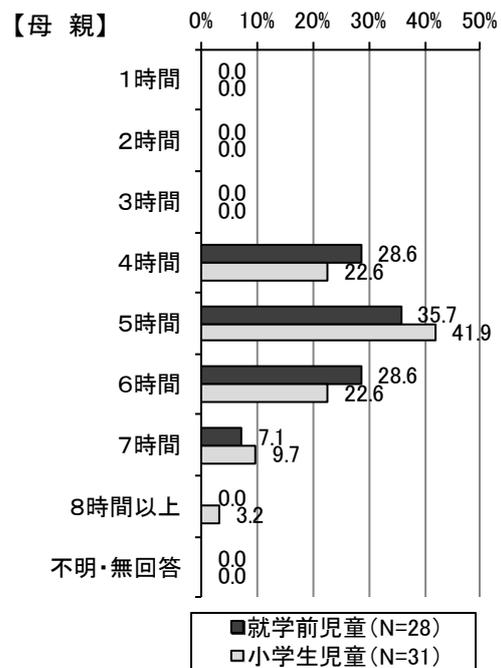
③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週あたりの就労日数



■希望する1日あたりの就労時間



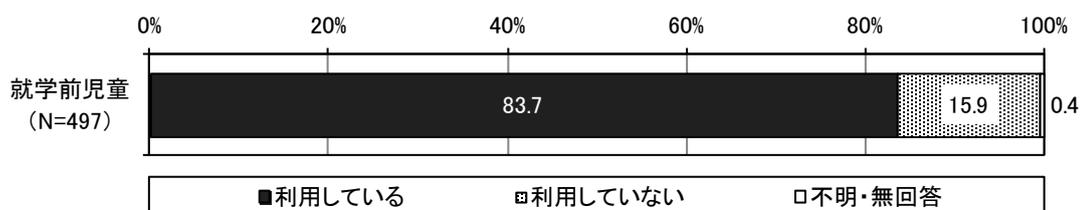
※【父親】就学前調査で、就労日数では「3日」に1件、就労時間では「4時間」に1件の回答がありました。小学生調査は回答がありませんでした。

6 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（1）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 16〕

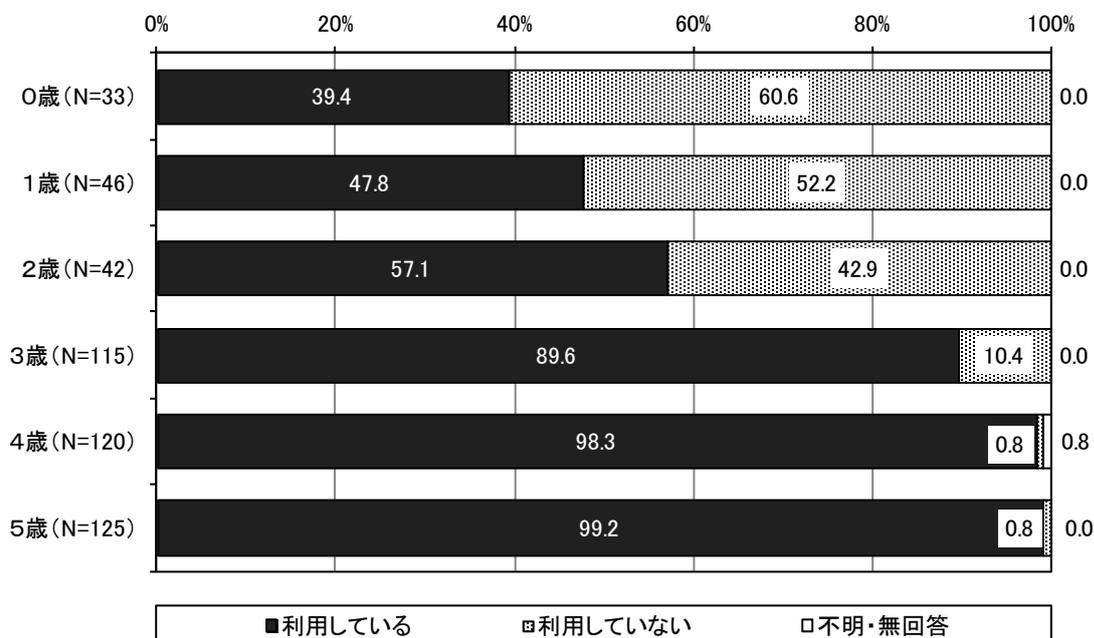
現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が83.7%と大部分を占めています。



*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。具体的には、幼稚園や保育所など、(1)－1に示す事業が含まれる。

年齢別 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

年齢別にみると、〔3歳〕以上で「利用している」割合が8割を超えています。また、〔2歳〕以上で「利用している」割合が「利用していない」割合を上回っており、年齢が上がるにつれて高くなっています。



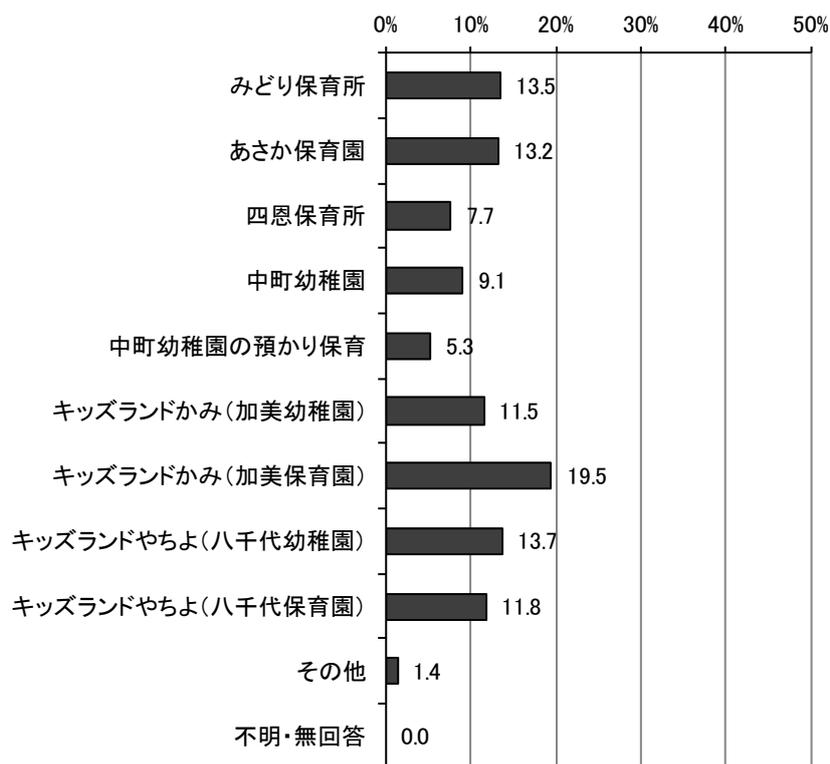
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 16－1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「キッズランドかみ(加美幼稚園)」が19.5%、「キッズランドやちよ(八千代保育園)」が13.7%、「みどり保育所」が13.5%など、全体的に2割以下となっています。

就学前児童(N=416)



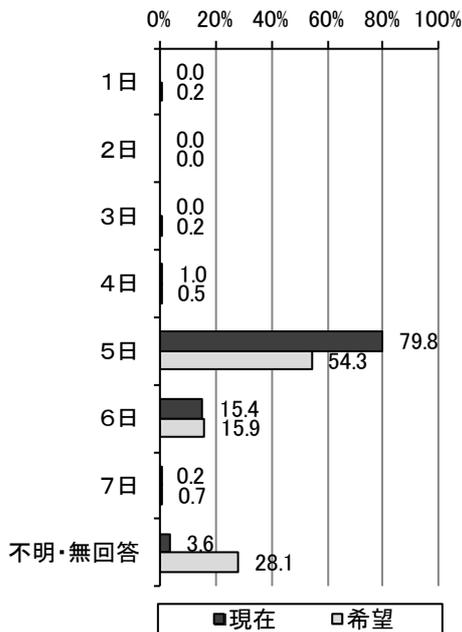
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔就学前児童調査…問16－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ79.8%、54.3%となっています。また、1日あたりの利用時間では、現在、希望ともに「8時間」が最も高く、それぞれ27.6%、22.8%となっています。

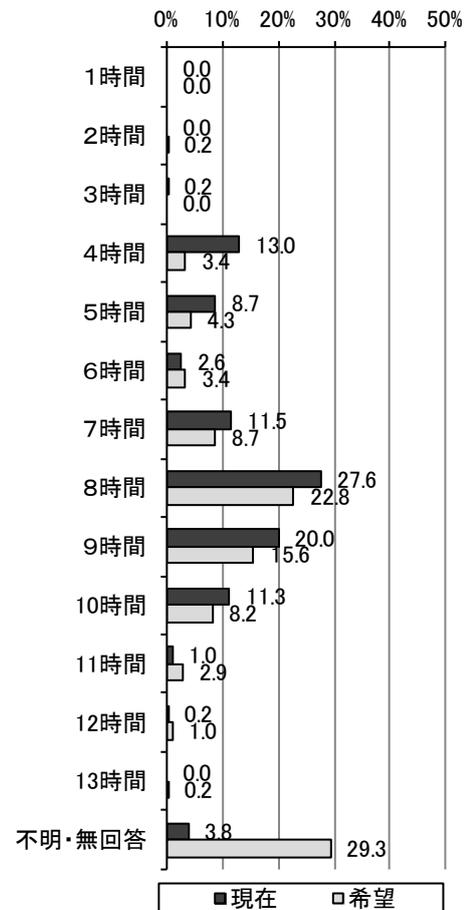
① 1週あたりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童(N=416)



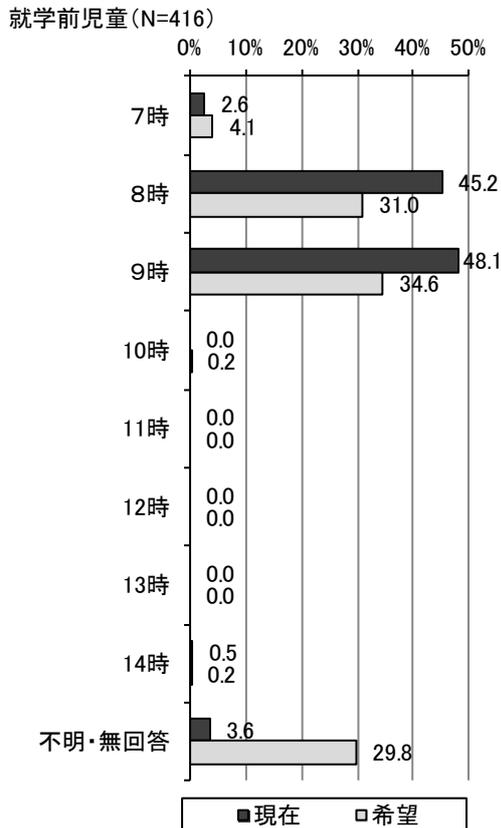
② 1日あたりの利用時間〈数量回答〉

就学前児童(N=416)

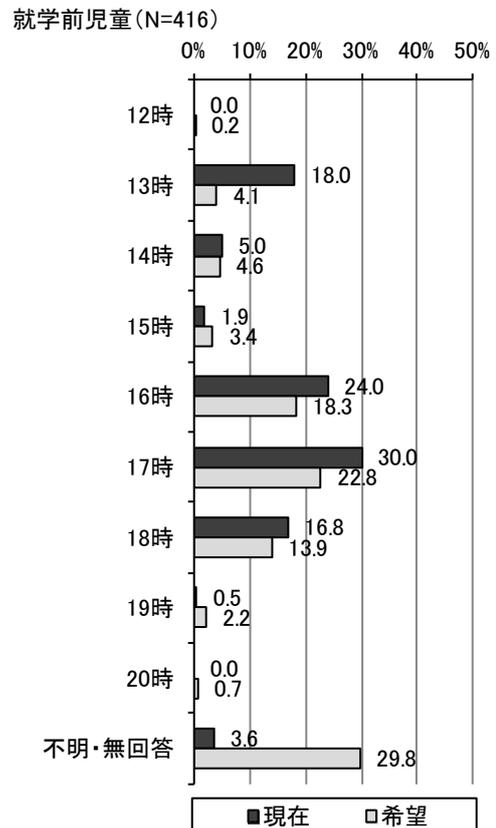


利用開始時間では、現在、希望ともに「9時」が最も高く、それぞれ48.1%、34.6%となっています。また、終了時間では、現在、希望ともに「17時」が最も高く、それぞれ30.0%、22.8%となっています。

③利用開始時間〈数量回答〉



④利用終了時間〈数量回答〉

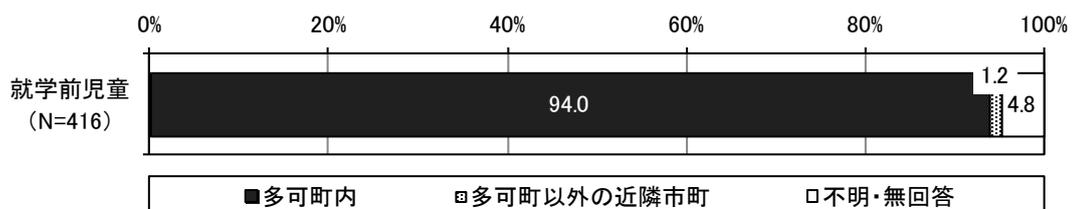


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 16－3]

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「多可町内」が94.0%と大部分を占めています。



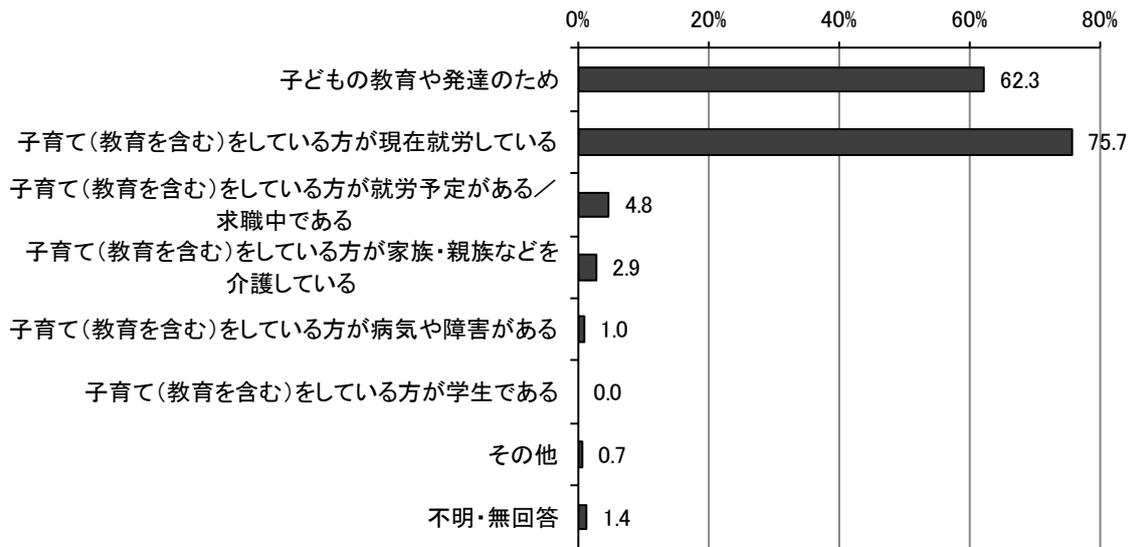
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 16－4〕

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 75.7%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 62.3%となっています。

就学前児童(N=416)



地区別 × 平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由

地区別にみると、[中区]、[加美区]では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」割合が最も高い一方、[八千代区]では「子どもの教育や発達のため」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	子どものための教育や発達	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	その他	不明・無回答
合計	416 100.0	259 62.3	315 75.7	20 4.8	12 2.9	4 1.0	0 0.0	3 0.7	6 1.4
中区	184 100.0	114 62.0	153 83.2	6 3.3	5 2.7	1 0.5	0 0.0	2 1.1	2 1.1
加美区	125 100.0	70 56.0	94 75.2	8 6.4	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8
八千代区	103 100.0	74 71.8	65 63.1	5 4.9	6 5.8	2 1.9	0 0.0	1 1.0	3 2.9

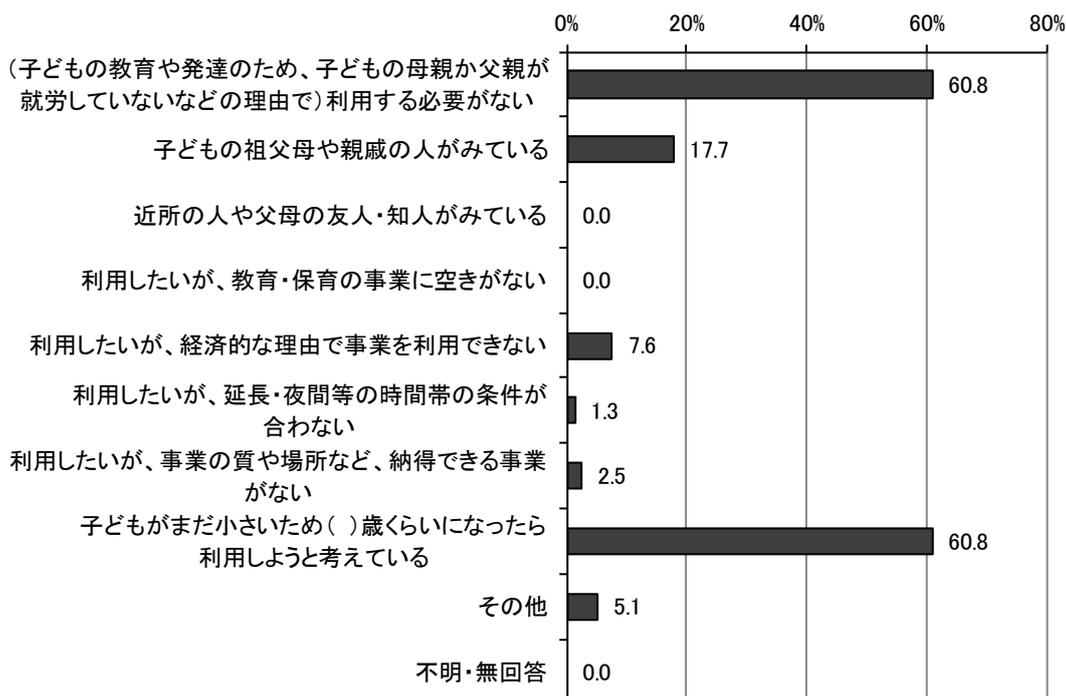
(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問16－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」がともに60.8%と高くなっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が58.3%と最も高くなっています。

就学前児童(N=79)



◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

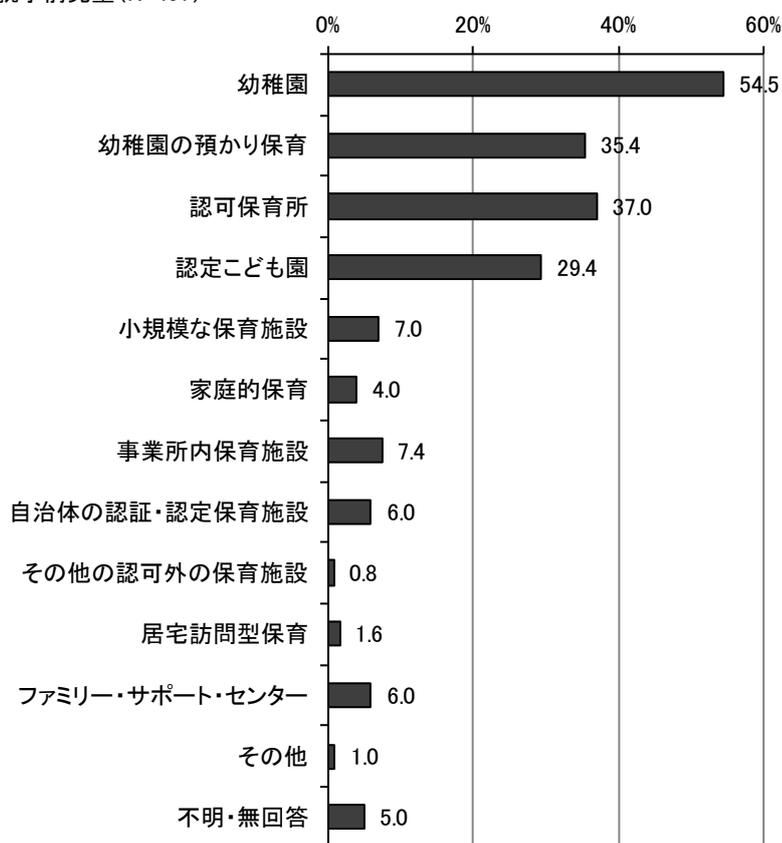
《「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方》

利用したい時の子どもの年齢	就学前児童(N=48)	
	件数	%
1歳	2	4.2
2歳	3	6.3
3歳	28	58.3
4歳	13	27.1
5歳	2	4.2
不明・無回答	0	0.0

(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」 利用したいと考える事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 17〕

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「幼稚園」が54.5%で最も高く、次いで「認可保育所」が37.0%、「幼稚園の預かり保育」が35.4%となっています。

就学前児童(N=497)



*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

年齢別 × 今後利用したい教育・保育事業

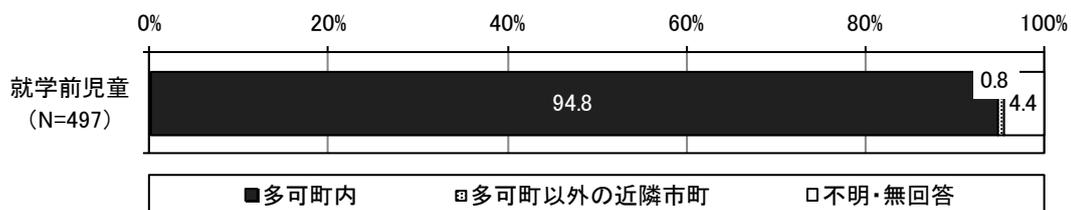
年齢別にみると、すべての年齢で「幼稚園」の割合が最も高くなっています。また、[0歳] から [4歳] までの「認可保育所」の割合が3～4割となっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	認定 こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設
合計	497 100.0	271 54.5	176 35.4	184 37.0	146 29.4	35 7.0	20 4.0	37 7.4
0歳	33 100.0	18 54.5	14 42.4	12 36.4	15 45.5	1 3.0	1 3.0	5 15.2
1歳	46 100.0	21 45.7	12 26.1	19 41.3	16 34.8	6 13.0	4 8.7	3 6.5
2歳	42 100.0	20 47.6	10 23.8	18 42.9	14 33.3	5 11.9	3 7.1	4 9.5
3歳	115 100.0	63 54.8	35 30.4	54 47.0	38 33.0	5 4.3	4 3.5	7 6.1
4歳	120 100.0	68 56.7	51 42.5	46 38.3	34 28.3	7 5.8	3 2.5	8 6.7
5歳	125 100.0	70 56.0	51 40.8	27 21.6	24 19.2	11 8.8	5 4.0	10 8.0

上段:度数 下段:%	合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミ リー・ サポート・ センター	その他	不明・ 無回答
合計	497 100	30 6.0	4 0.8	8 1.6	30 6.0	5 1.0	25 5.0
0歳	33 100	1 3.0	0 0.0	2 6.1	0 0.0	2 6.1	0 0.0
1歳	46 100	4 8.7	1 2.2	1 2.2	4 8.7	0 0.0	1 2.2
2歳	42 100	4 9.5	2 4.8	0 0.0	4 9.5	0 0.0	3 7.1
3歳	115 100	8 7.0	1 0.9	1 0.9	5 4.3	0 0.0	6 5.2
4歳	120 100	5 4.2	0 0.0	2 1.7	7 5.8	2 1.7	6 5.0
5歳	125 100	7 5.6	0 0.0	2 1.6	8 6.4	1 0.8	9 7.2

(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問17-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「多可町内」が94.8%と大部分を占めています。

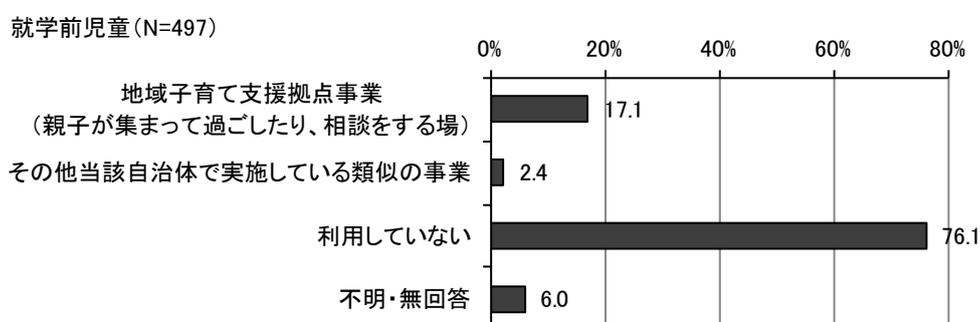


7 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）

（1）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 17.1% 「その他当該自治体で実施している類似の事業」が 2.4% となっています。一方、「利用していない」は 76.1% となっています。

また、1 週あたりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』、『その他当該自治体で実施している類似の事業』ともに「1 回」の割合が高くなっています。1 ヶ月あたりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』で「2 回」、『その他当該自治体で実施している類似の事業』で「1 回」の割合が高くなっています。



◎ 1 週あたりもしくは 1 ヶ月あたりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他当該自治体で実施している類似の事業」を選んだ方》

【就学前児童】 1 週あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=85)		その他当該自治体 で実施している 類似の事業 (N=12)	
	件数	%	件数	%
1 回	14	16.5	4	33.3
2 回	5	5.9	0	0.0
3 回	1	1.2	0	0.0
4 回	0	0.0	0	0.0
5 回	3	3.5	0	0.0
不明・無回答	62	72.9	8	66.7

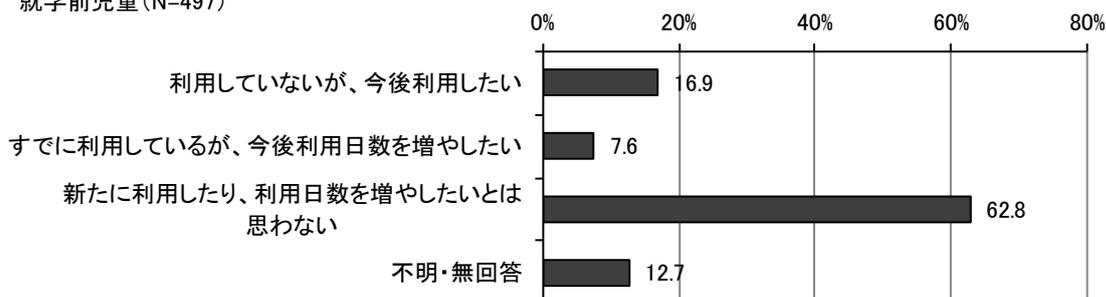
【就学前児童】 1 ヶ月あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=85)		その他当該自治体 で実施している 類似の事業 (N=12)	
	件数	%	件数	%
1 回	23	27.1	3	25.0
2 回	28	32.9	2	16.7
3 回	8	9.4	1	8.3
4 回	7	8.2	2	16.7
5 回以上	5	5.9	2	16.7
不明・無回答	14	16.5	2	16.7

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が62.8%と最も高くなっています。

また、1週あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』とともに「1回」の割合が最も高くなっています。1ヶ月あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

就学前児童(N=497)



◎ 1週あたりもしくは1ヶ月あたりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

【就学前児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=84)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=38)	
	件数	%	件数	%
1回	17	20.2	10	26.3
2回	4	4.8	3	7.9
3回	2	2.4	0	0.0
4回	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	61	72.6	25	65.8

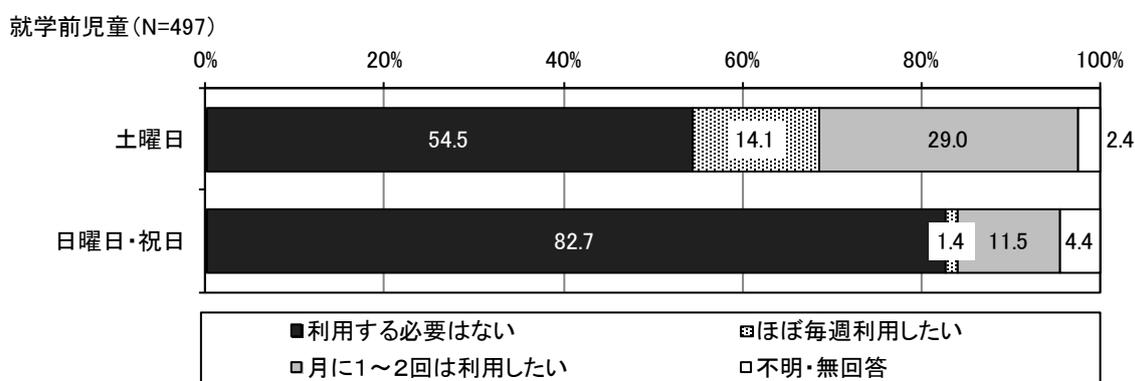
【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=84)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=38)	
	件数	%	件数	%
1回	31	36.9	7	18.4
2回	21	25.0	19	50.0
3回	5	6.0	0	0.0
4回	3	3.6	0	0.0
5回以上	3	3.6	0	0.0
不明・無回答	21	25.0	12	31.6

8 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（1）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問23〕

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ54.5%、82.7%と最も高く、特に日曜日・祝日では8割と、大部分を占めています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高くなっています。終了時間では、土曜日で「17時」、日曜日・祝日で「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」を選んだ方》

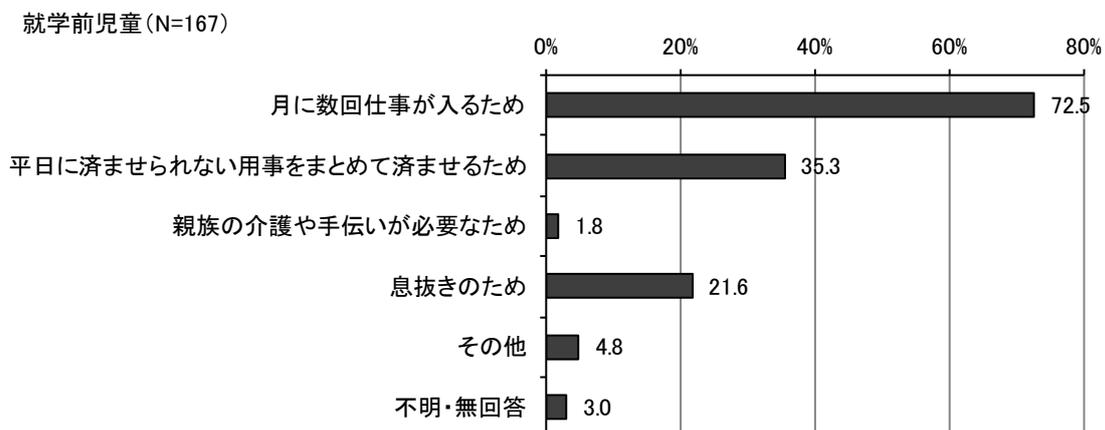
【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=214)		日曜日・祝日 (N=64)	
	件数	%	件数	%
6時前	1	0.5	1	1.6
7時	10	4.7	6	9.4
8時	111	51.9	38	59.4
9時	74	34.6	13	20.3
10時	2	0.9	1	1.6
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	1	1.6
不明・無回答	16	7.5	4	6.3

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=214)		日曜日・祝日 (N=64)	
	件数	%	件数	%
12時	12	5.6	0	0.0
13時	9	4.2	0	0.0
14時	2	0.9	0	0.0
15時	12	5.6	4	6.3
16時	35	16.4	9	14.1
17時	71	33.2	22	34.4
18時	50	23.4	23	35.9
19時	4	1.9	1	1.6
20時以降	2	0.9	1	1.6
不明・無回答	17	7.9	4	6.3

(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1) - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23-1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が72.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.3%となっています。



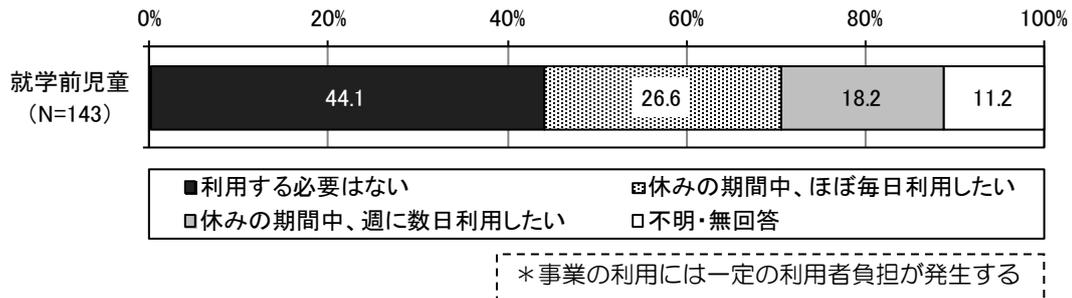
「中町幼稚園」「加美幼稚園」「八千代幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 24〕

中町幼稚園、加美幼稚園、八千代幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が44.1%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が26.6%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「8時」、終了時間では「17時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



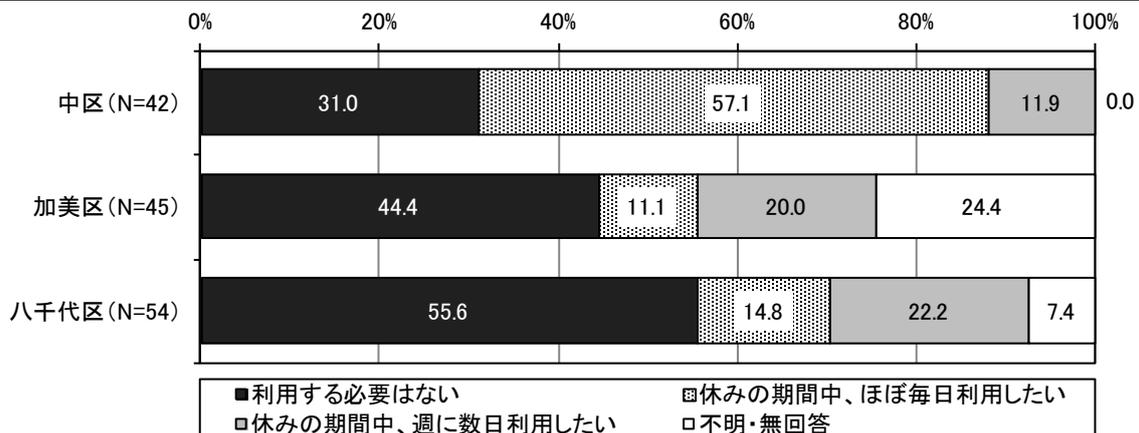
◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

開始時間	就学前児童 (N=64)		終了時間	就学前児童 (N=64)	
	件数	%		件数	%
6時	0	0.0	13時	6	9.4
7時	1	1.6	14時	3	4.7
8時	30	46.9	15時	4	6.3
9時	24	37.5	16時	12	18.8
10時	0	0.0	17時	15	23.4
11時	0	0.0	18時	13	20.3
12時	0	0.0	19時	2	3.1
不明・無回答	9	14.1	不明・無回答	9	14.1

地区別 × 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

地区別にみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」で、[中区] が5割に対し、[加美区]、[八千代区] では1割となっています。一方、[八千代区] では「利用する必要はない」の割合が5割を超えています。

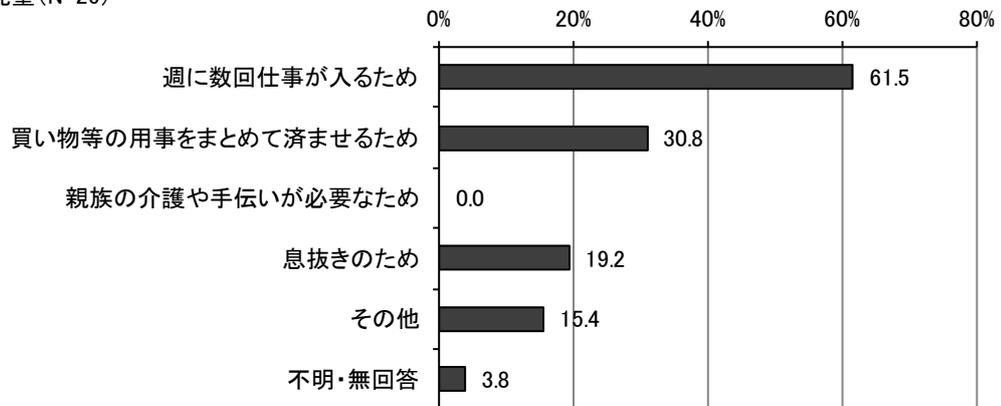


(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 24－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「週に数回仕事が入るため」が61.5%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が30.8%となっています。

就学前児童(N=26)



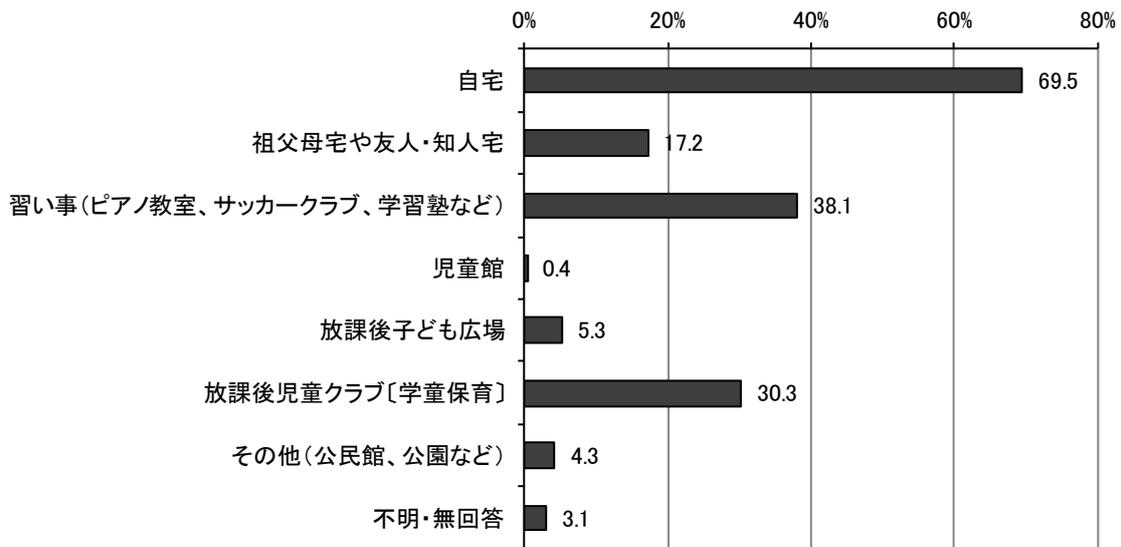
9 放課後児童クラブの利用状況について（小学生児童）

（1）小学校低学年での、放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 19〕

小学校低学年での、放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方についてみると、「自宅」が69.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が38.1%となっています。

小学生児童(N=829)



週あたりの利用日数については、『自宅』、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が最も高くなっています。また、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』を選んだ方の利用時間では、「18時」が41.0%と最も高くなっています。

①週あたりの利用日数〈数量回答〉

【小学生児童】 週あたりの 利用日数	自宅		宅 祖 父 母 や 友 人 ・ 知 人		ブ 室 習 、 い 学 サ 事 習 ツ (ヘ 塾 カ ピ な ア ど ク ノ ク ラ 教		児 童 館		広 放 場 課 後 子 ど も		ハ 放 学 課 童 後 保 育 児 ク ラ ブ		園 そ な の 他 (公 民 館、 公	
	N=576		N=143		N=316		N=3		N=44		N=251		N=36	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	35	6.1	41	28.7	103	32.6	1	33.3	27	61.4	3	1.2	11	30.6
2日	74	12.8	39	27.3	136	43.0	0	0.0	8	18.2	6	2.4	10	27.8
3日	63	10.9	19	13.3	57	18.0	0	0.0	2	4.5	22	8.8	7	19.4
4日	50	8.7	8	5.6	12	3.8	0	0.0	1	2.3	28	11.2	5	13.9
5日	253	43.9	28	19.6	3	0.9	1	33.3	2	4.5	162	64.5	3	8.3
6日	10	1.7	2	1.4	1	0.3	1	33.3	0	0.0	19	7.6	0	0.0
7日	36	6.3	3	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8	0	0.0
不明・無回答	55	9.5	3	2.1	4	1.3	0	0.0	4	9.1	9	3.6	0	0.0

②「放課後児童クラブ」の利用時間〈下校時から何時まで〉〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【小学生児童】 利用時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=251)	
	件数	%
15時以前	1	0.4
16時	7	2.8
17時	71	28.3
18時	103	41.0
19時	12	4.8
20時	0	0.0
不明・無回答	57	22.7

小学校区別 × 小学校低学年での放課後の過ごし方

小学校区別にみると、[中町北小学校] では「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が最も高い一方で、[中町北小学校] 以外の小学校では「自宅」の割合が最も高く、6割以上となっています。

上段:度数 下段:%	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人	習い事	児童館	放課後子ども広場	放課後児童クラブ〔学童保育〕	その他（公民館、公園など）	不明・無回答
合計	829 100.0	576 69.5	143 17.2	316 38.1	3 0.4	44 5.3	251 30.3	36 4.3	26 3.1
中町南小学校	237 100.0	170 71.7	52 21.9	102 43.0	0 0.0	9 3.8	62 26.2	11 4.6	10 4.2
中町北小学校	130 100.0	64 49.2	21 16.2	32 24.6	0 0.0	10 7.7	72 55.4	7 5.4	2 1.5
松井小学校	144 100.0	93 64.6	12 8.3	37 25.7	1 0.7	6 4.2	50 34.7	4 2.8	5 3.5
杉原谷小学校	120 100.0	87 72.5	18 15.0	48 40.0	2 1.7	8 6.7	41 34.2	4 3.3	3 2.5
八千代南小学校	105 100.0	86 81.9	18 17.1	48 45.7	0 0.0	6 5.7	18 17.1	4 3.8	2 1.9
八千代北小学校	51 100.0	41 80.4	13 25.5	28 54.9	0 0.0	4 7.8	6 11.8	2 3.9	1 2.0
八千代西小学校	39 100.0	33 84.6	9 23.1	21 53.8	0 0.0	1 2.6	2 5.1	4 10.3	2 5.1

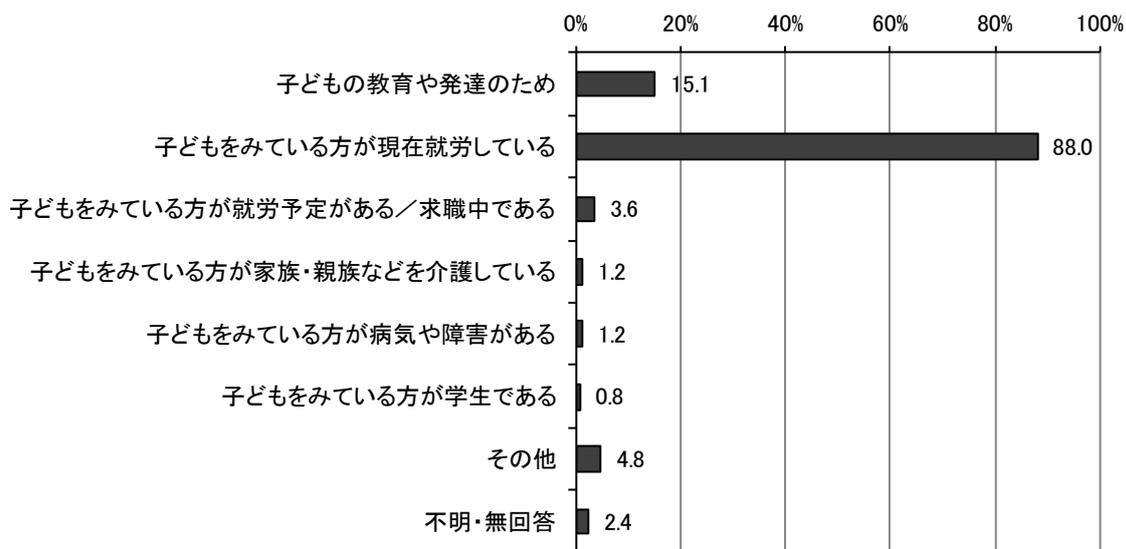
(1)で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方

(1)－1 放課後児童クラブを利用している主な理由〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 19－1〕

放課後児童クラブを利用している方の主な理由についてみると、「子どもをみている方が現在就労している」が88.0%と最も高くなっています。

小学生児童(N=251)



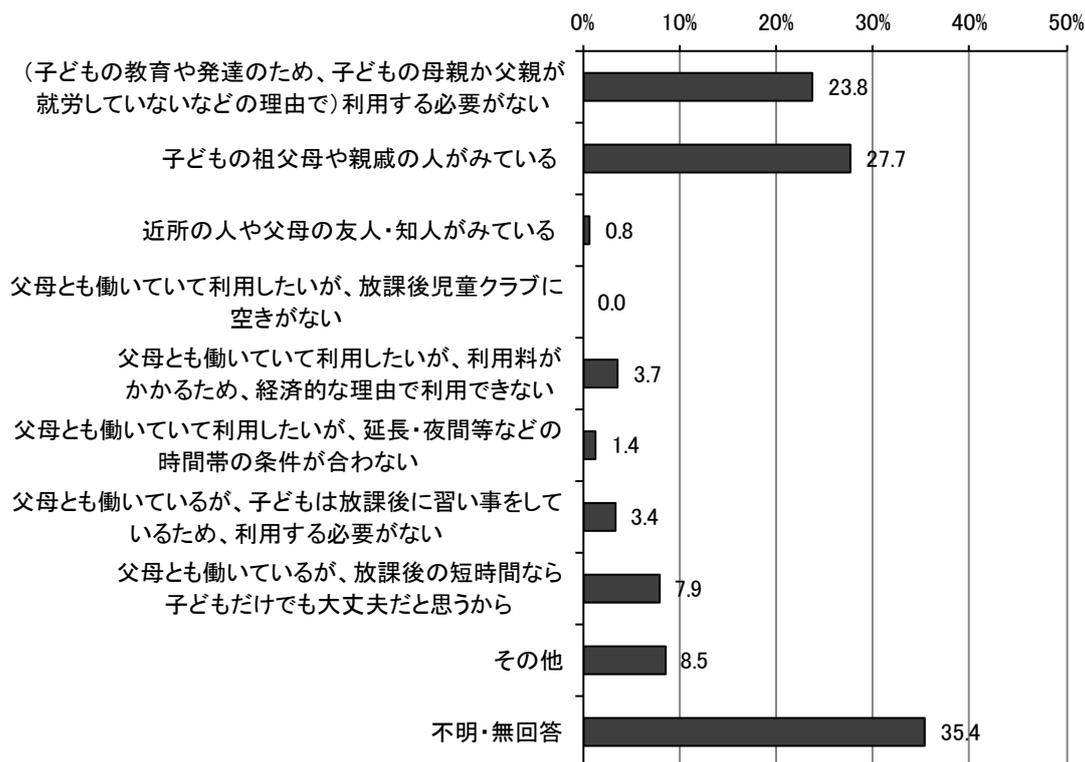
(1)で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばなかった方

(1)－2 放課後児童クラブを利用していない主な理由〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 19－2〕

放課後児童クラブを利用していない主な理由についてみると、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が27.7%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が23.8%となっています。

小学生児童(N=646)



小学校区別 × 放課後児童クラブを利用していない主な理由

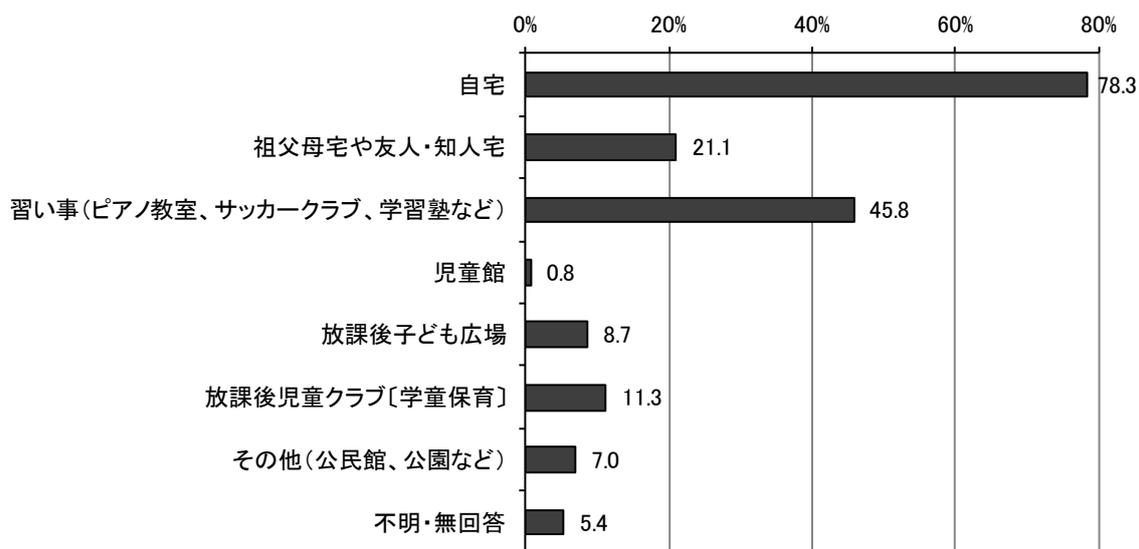
小学校区別にみると、[八千代南小学校]では「利用する必要がない」の割合が最も高い一方で、[八千代南小学校]以外の小学校では「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	理由(子どもか親が利用する必要がない)	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	課後児童クラブに空きがない	費用がかかるため、経済的な理由で利用できない	父母とも働いて利用したいが、延長・夜間等などの時間帯の条件が合わない	父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしていない	間なら子どもだけでも大丈夫だと思う	その他	不明・無回答
合計	646 100.0	154 23.8	179 27.7	5 0.8	0 0.0	24 3.7	9 1.4	22 3.4	51 7.9	55 8.5	229 35.4
中町南小学校	192 100.0	39 20.3	52 27.1	1 0.5	0 0.0	9 4.7	1 0.5	13 6.8	24 12.5	20 10.4	64 33.3
中町北小学校	79 100.0	14 17.7	19 24.1	1 1.3	0 0.0	5 6.3	3 3.8	1 1.3	4 5.1	1 1.3	41 51.9
松井小学校	102 100.0	29 28.4	30 29.4	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	2 2.0	6 5.9	7 6.9	34 33.3
杉原谷小学校	98 100.0	23 23.5	30 30.6	1 1.0	0 0.0	3 3.1	1 1.0	1 1.0	3 3.1	5 5.1	38 38.8
八千代南小学校	90 100.0	31 34.4	20 22.2	0 0.0	0 0.0	3 3.3	0 0.0	1 1.1	10 11.1	8 8.9	30 33.3
八千代北小学校	47 100.0	10 21.3	14 29.8	1 2.1	0 0.0	1 2.1	1 2.1	1 2.1	2 4.3	11 23.4	12 25.5
八千代西小学校	36 100.0	7 19.4	14 38.9	0 0.0	0 0.0	1 2.8	2 5.6	3 8.3	2 5.6	3 8.3	10 27.8

(2) 小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所〈複数回答〉 [小学生児童調査…問 20]

小学校高学年になったら、放課後(平日の小学校終了後)に過ごさせたい場所についてみると、「自宅」が78.3%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が45.8%となっています。

小学生児童(N=829)



週あたりの利用希望日数については、『自宅』、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が、ともに最も高くなっています。『児童館』、『放課後子ども広場』、『その他（公民館、公園など）』では、ともに「1日」の割合が最も高くなっています。また、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』を選んだ方の利用希望時間では、「18時」が51.1%と最も高くなっています。

①週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【小学生児童】 週あたりの 利用希望日数	自宅 N=649		宅 祖 父 母 や 友 人 ・ 知 人 N=175		ブ 室 習 、 、 い 学 サ 事 習 ツ (ハ 塾 カ ピ な ア ど ク ノ 〜) ラ 教 N=380		児 童 館 N=7		放 課 後 子 ど も 広 場 N=72		ハ 放 学 課 童 後 保 育 児 ク ラ ブ N=94		園 そ な の 他 (ハ 公 民 館 、 公 園) N=58	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	40	6.2	41	23.4	114	30.0	5	71.4	25	34.7	2	2.1	17
2日	96	14.8	56	32.0	160	42.1	0	0.0	21	29.2	8	8.5	15	25.9
3日	88	13.6	33	18.9	83	21.8	1	14.3	11	15.3	12	12.8	11	19.0
4日	63	9.7	5	2.9	12	3.2	0	0.0	5	6.9	9	9.6	4	6.9
5日	265	40.8	25	14.3	5	1.3	0	0.0	7	9.7	47	50.0	6	10.3
6日	10	1.5	2	1.1	0	0.0	0	0.0	1	1.4	7	7.4	0	0.0
7日	28	4.3	2	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	1	1.7
不明・無回答	59	9.1	11	6.3	6	1.6	1	14.3	2	2.8	8	8.5	4	6.9

②「放課後児童クラブ」の利用希望時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

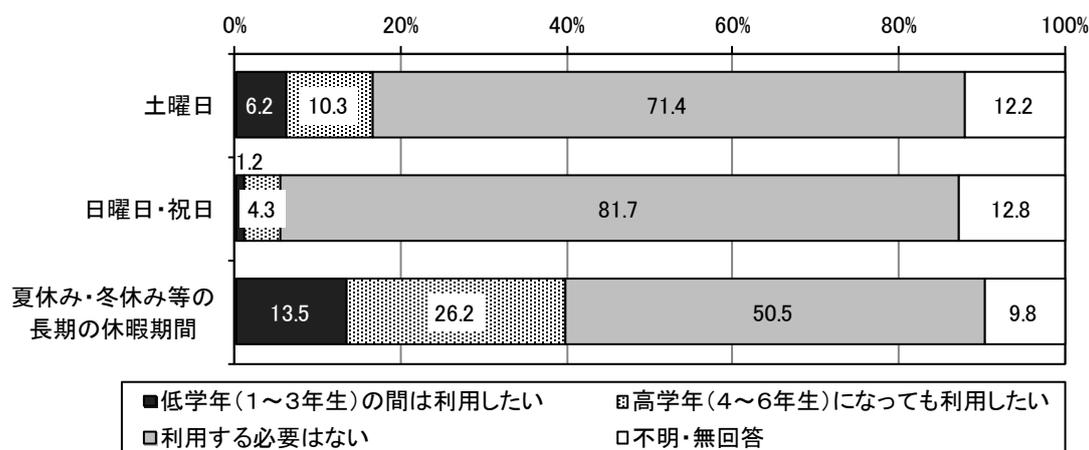
【小学生児童】 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=94)	
	件数	%
15時以前	1	1.1
16時	1	1.1
17時	13	13.8
18時	48	51.1
19時	8	8.5
20時	0	0.0
不明・無回答	23	24.5

(3) 土曜日や日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 21〕

土曜日や日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間ともに「利用する必要はない」の割合が最も高く、5割以上となっています。また、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間では、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が2割となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間ともに、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

小学生児童(N=829)



①希望する利用時間帯〈数量回答〉

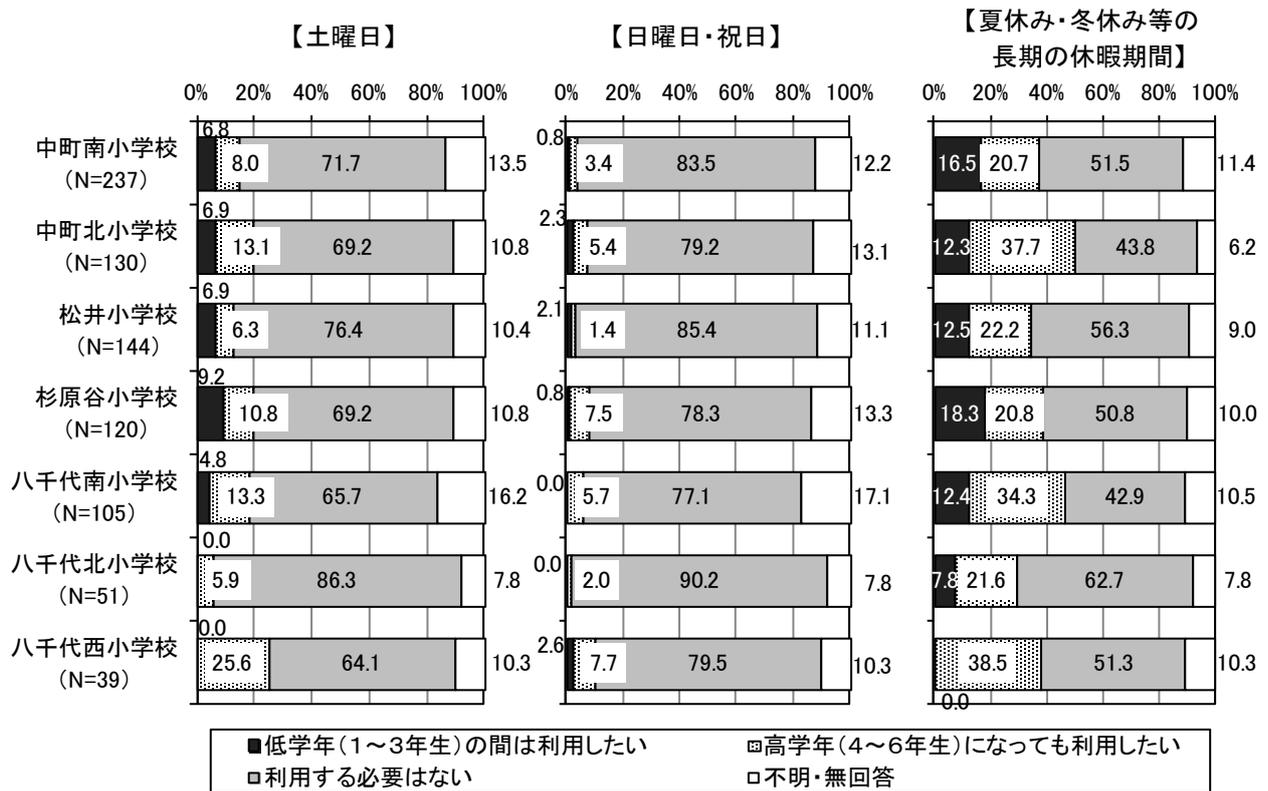
《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

【小学生児童】 開始時間	土曜日 (N=136)		日曜日・祝日 (N=46)		夏休み・冬休み等の長期の 休暇期間 (N=329)	
	件数	%	件数	%	件数	%
	6時	0	0.0	0	0.0	0
7時	9	6.6	4	8.7	14	4.3
8時	89	65.4	28	60.9	201	61.1
9時	28	20.6	5	10.9	83	25.2
10時	3	2.2	4	8.7	7	2.1
11時	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時	3	2.2	1	2.2	4	1.2
14時	1	0.7	0	0.0	0	0.0
15時	0	0.0	0	0.0	1	0.3
16時	1	0.7	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	1.5	4	8.7	19	5.8

【小学生児童】 終了時間	土曜日 (N=136)		日曜日・祝日 (N=46)		夏休み・冬休み等の長期の 休暇期間 (N=329)	
	件数	%	件数	%	件数	%
	11時	1	0.7	0	0.0	0
12時	3	2.2	2	4.3	8	2.4
13時	1	0.7	0	0.0	1	0.3
14時	0	0.0	0	0.0	4	1.2
15時	5	3.7	2	4.3	16	4.9
16時	10	7.4	2	4.3	34	10.3
17時	33	24.3	6	13.0	103	31.3
18時	67	49.3	26	56.5	122	37.1
19時	13	9.6	4	8.7	21	6.4
20時	1	0.7	0	0.0	2	0.6
21時以降	1	0.7	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	0.7	4	8.7	18	5.5

小学校区別 × 土曜日や日曜日・祝日、長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望

小学校区別にみると、日曜日・祝日の「高学年（4～6年生）になっても利用したい」では、すべての小学校区において、割合が1割以下なのに対し、土曜日では、[中町北小学校]、[杉原谷小学校]、[八千代南小学校]、[八千代西小学校]で1割以上、長期の休暇期間では、すべての小学校区において2割以上となっています。また、長期の休暇期間の「低学年（1～3年生）の間は利用したい」では、[八千代北小学校]、[八千代西小学校]を除くすべての小学校区で1割以上となっています。

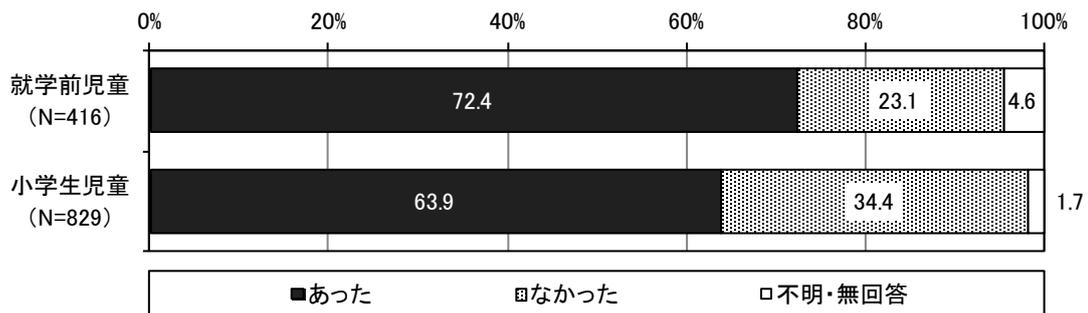


10 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

（1）この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）ことの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 25、小学生児童調査…問 22〕

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童で72.4%、小学生児童で63.9%となっています。

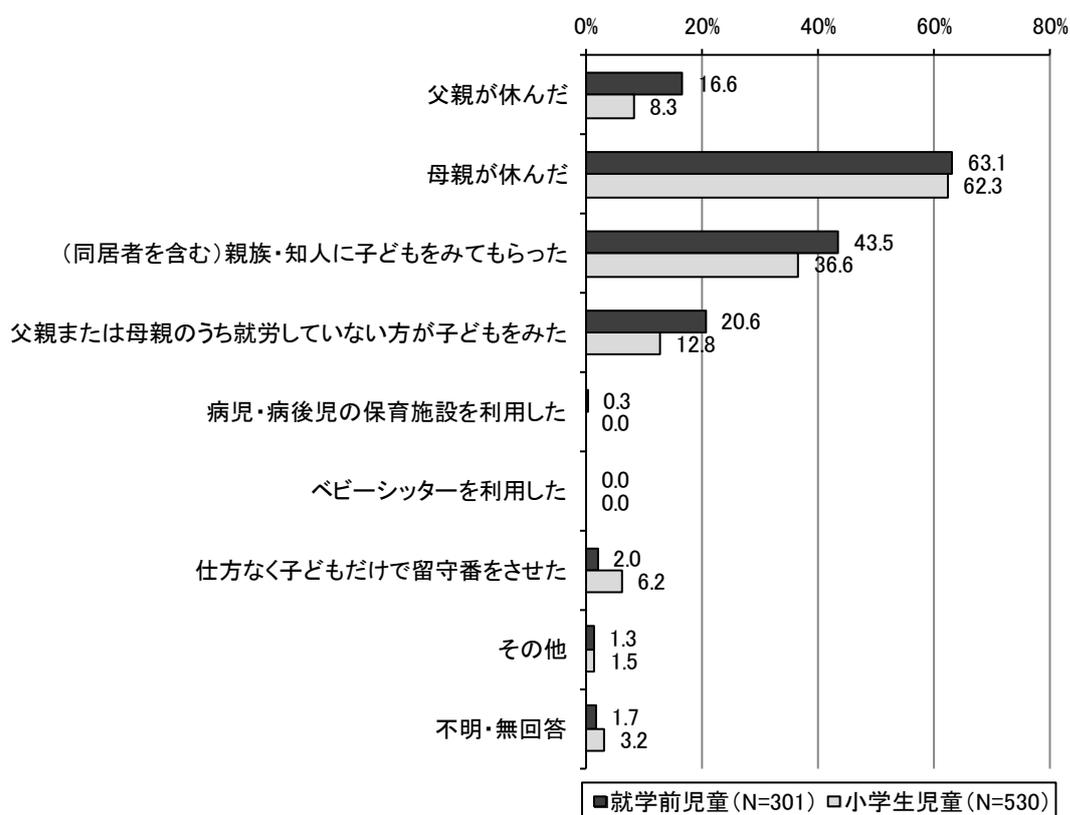


※就学前児童は、平日の定期的な教育・保育事業を利用している方

(1)で「あった」を選んだ方

(1)－1 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合の、この1年間に
行った対処方法〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 25－1、小学生児童調査…問 22－1〕

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったり、学校へ行けなかった場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が就学前児童で63.1%、小学生児童で62.3%と、それぞれ最も高く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が就学前児童で43.5%、小学生児童で36.6%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対応日数については、『母親が休んだ』が、就学前児童では「10日以上」、小学生児童では「1日」の割合が、最も高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対応日数〈数量回答〉

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ N=50		母親が休んだ N=190		もにむへら子〜同居 つと親居たも族者 を・知含み人		もいの父をなう親 みいちまた方就た が労は子し母 どて親		し保病 た育児 施・病 設を後 を利児 用の		さだ仕 せけ方 たでな 留く子 守番ど をも		その他 N=4	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	18	36.0	22	11.6	9	6.9	6	9.7	0	0.0	5	83.3	1
2日	11	22.0	21	11.1	19	14.5	9	14.5	0	0.0	1	16.7	0	0.0
3日	5	10.0	28	14.7	29	22.1	7	11.3	0	0.0	0	0.0	1	25.0
4日	3	6.0	8	4.2	7	5.3	2	3.2	1	100.0	0	0.0	0	0.0
5日	5	10.0	29	15.3	16	12.2	8	12.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	1	2.0	6	3.2	3	2.3	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	4.0	3	1.6	2	1.5	6	9.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	4	2.1	2	1.5	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	2	4.0	44	23.2	30	22.9	12	19.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	6.0	24	12.6	14	10.7	10	16.1	0	0.0	0	0.0	2	50.0

※【就学前児童】で「ベビーシッターを利用した」に回答はありませんでした。

【小学生児童】 対応日数	父親が休んだ N=44		母親が休んだ N=330		もにむへら子〜同居 つと親居たも族者 を・知含み人		もいの父をなう親 みいちまた方就た が労は子し母 どて親		さだ仕 せけ方 たでな 留く子 守番ど をも		その他 N=8	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	17	38.6	86	26.1	45	23.2	19	27.9	16	48.5	2
2日	8	18.2	72	21.8	43	22.2	17	25.0	11	33.3	1	12.5
3日	7	15.9	43	13.0	37	19.1	4	5.9	5	15.2	2	25.0
4日	1	2.3	14	4.2	5	2.6	4	5.9	1	3.0	0	0.0
5日	4	9.1	25	7.6	15	7.7	11	16.2	0	0.0	1	12.5
6日	0	0.0	2	0.6	1	0.5	1	1.5	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	10	3.0	9	4.6	5	7.4	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	1	2.3	24	7.3	8	4.1	0	0.0	0	0.0	1	12.5
不明・無回答	6	13.6	52	15.8	31	16.0	7	10.3	0	0.0	1	12.5

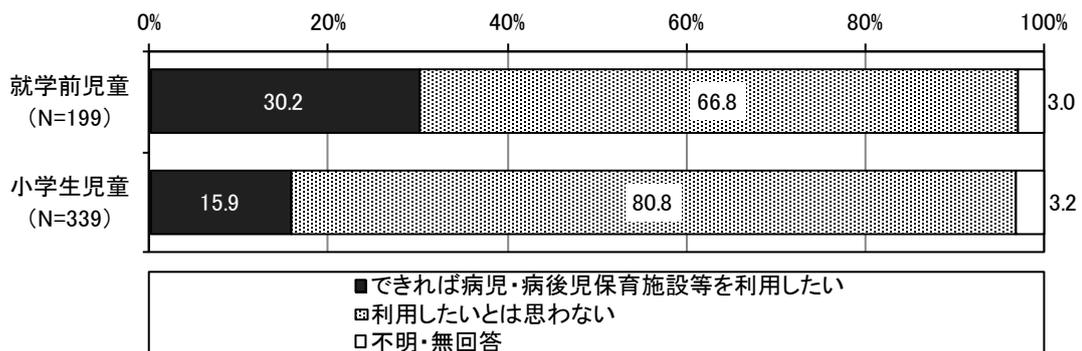
※【小学生児童】で「ベビーシッターを利用した」、「病児・病後児の保育施設を利用した」ともに回答はありませんでした。

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 25-2、小学生児童調査…問 22-2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で30.2%、小学生児童で15.9%、「利用したいとは思わない」が就学前児童で66.8%、小学生児童で80.8%となっています。

また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、就学前児童では「5日」が16.7%、小学生児童では「2日」が22.2%と、それぞれ高くなっています。



*病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

利用したい日数	就学前児童 (N=60)		小学生児童 (N=54)	
	件数	%	件数	%
1日	6	10.0	6	11.1
2日	7	11.7	12	22.2
3日	6	10.0	9	16.7
4日	1	1.7	2	3.7
5日	10	16.7	4	7.4
6日	3	5.0	0	0.0
7日	3	5.0	4	7.4
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	8	13.3	2	3.7
不明・無回答	16	26.7	15	27.8

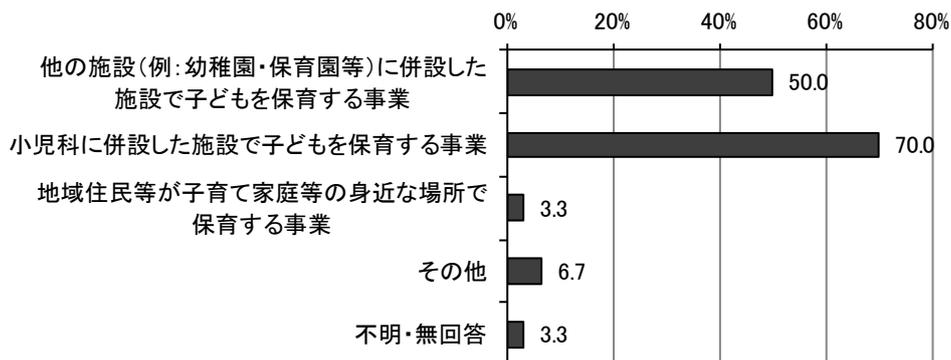
(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 3 上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-3〕

病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.0%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が50.0%となっています。

就学前児童(N=60)

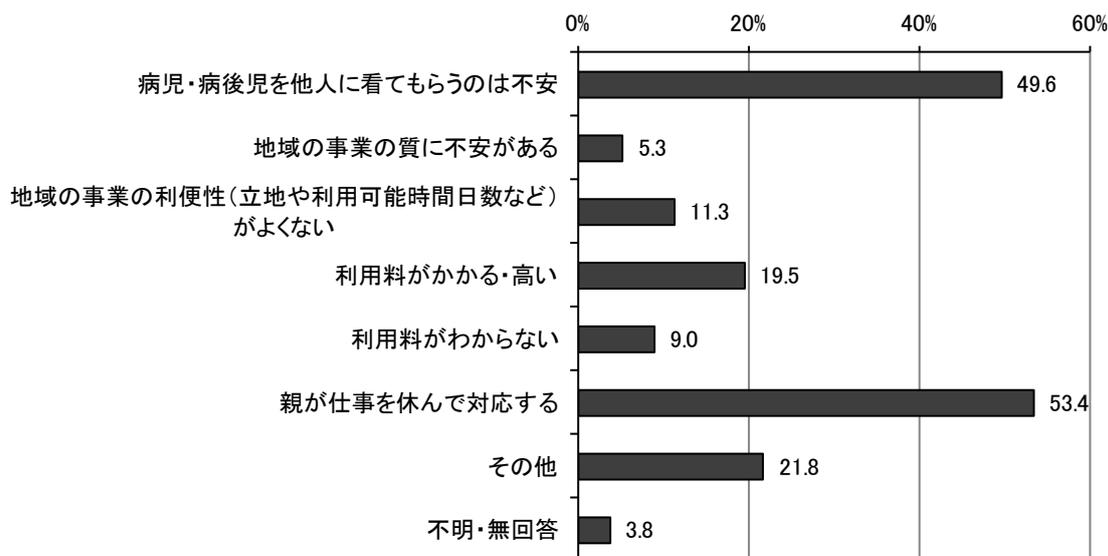


(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 25-4〕

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「親が仕事を休んで対応する」が53.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.6%となっています。

就学前児童(N=133)

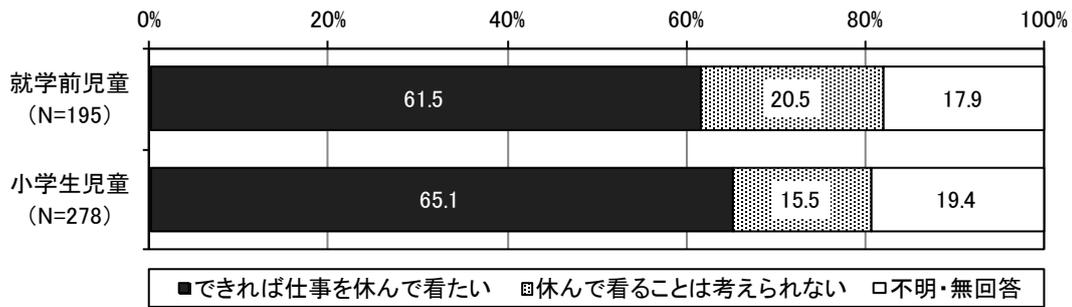


(1) - 1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方

(1) - 5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 25-5、小学生児童調査…問 22-3〕

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が就学前児童で61.5%、小学生児童で65.1%となっています。

また、仕事を休んで看たい日数については、就学前児童で「2日」、小学生児童では「1日」、「2日」の割合がともに高くなっています。



◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉

《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》

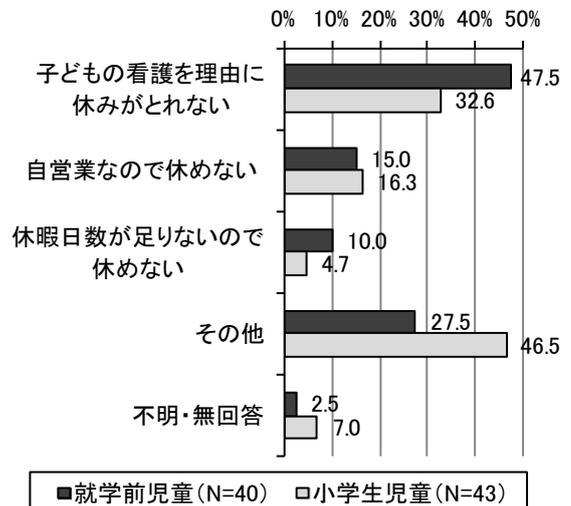
仕事を休んで看たい日数	就学前児童 (N=120)		小学生児童 (N=181)	
	件数	%	件数	%
1日	19	15.8	44	24.3
2日	22	18.3	44	24.3
3日	17	14.2	37	20.4
4日	3	2.5	4	2.2
5日	6	5.0	11	6.1
6日	3	2.5	3	1.7
7日	2	1.7	5	2.8
8日	1	0.8	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	17	14.2	3	1.7
不明・無回答	30	25.0	30	16.6

(1) - 4で「休んで看することは考えられない」を選んだ方

(1) - 6 そう思う理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-6、小学生児童調査…問 22-4〕

仕事を休んで看することは考えられない理由についてみると、「その他」を除いて、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が就学前児童で47.5%、小学生児童で32.6%と高くなっています。



11 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）

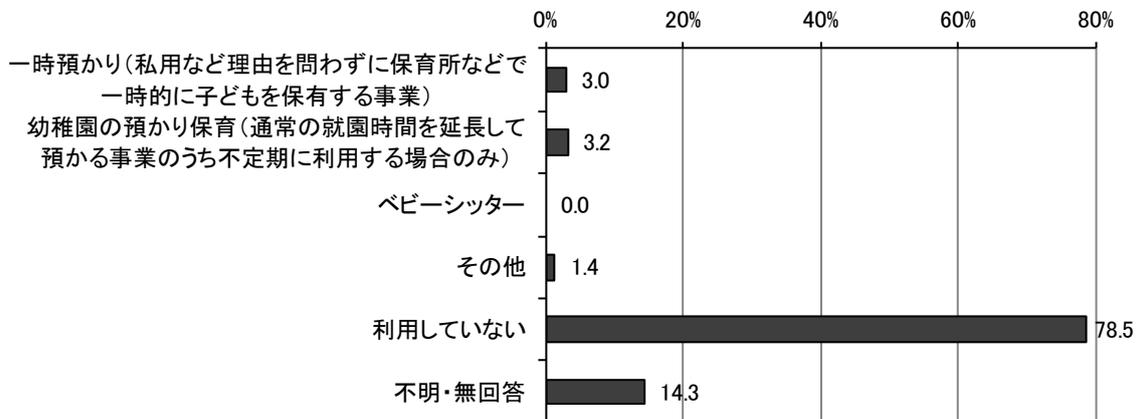
（平日日中の保育・教育を利用する方のみ）

（1）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉〔就学前児童調査…問26〕

一時預かりなど、不定期的に利用する必要がある事業についてみると、「利用していない」が78.5%となっています。利用している事業では、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」の割合が1割以下となっています。

利用している事業の1年間の利用日数については、『一時預かり』で「10～19日」、『幼稚園の預かり保育』で「1日」、「5日」の割合が高くなっています。

就学前児童(N=497)



◎1年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

※「ベビーシッター」に回答はありませんでした。

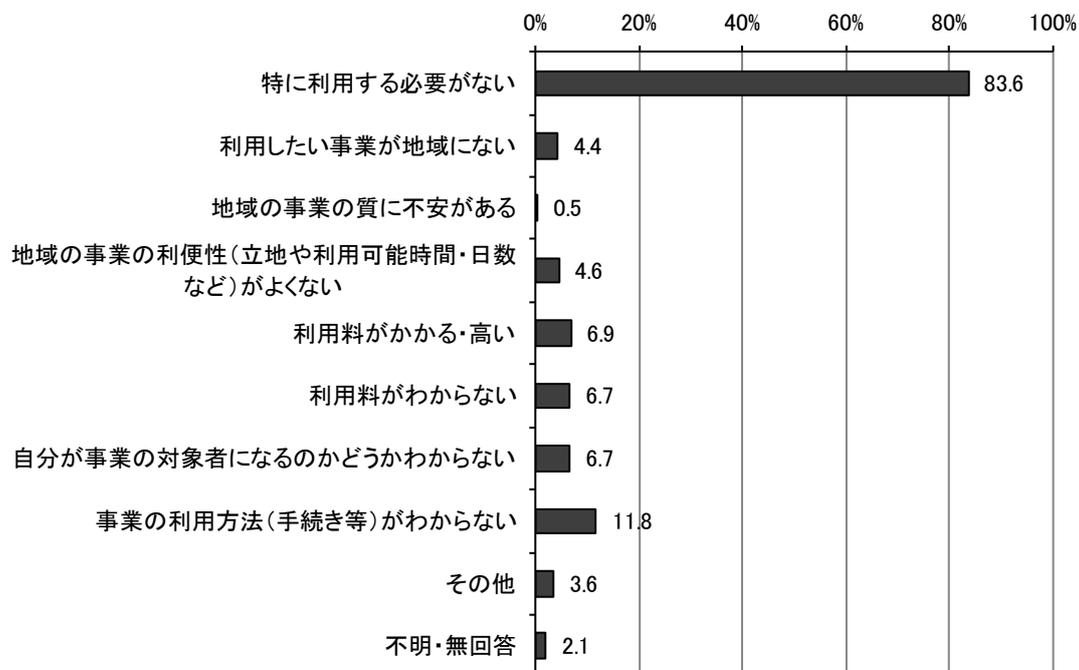
【就学前児童】 1年間の 利用日数	一時預かり N=15		幼稚園の 預かり保育 N=16		その他 N=7	
	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	0	0.0	3	18.8	0
2日	0	0.0	0	0.0	2	28.6
3日	1	6.7	2	12.5	1	14.3
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	3	20.0	3	18.8	0	0.0
6日	1	6.7	1	6.3	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	1	6.7	0	0.0	0	0.0
10～19日	6	40.0	2	12.5	0	0.0
20～29日	1	6.7	1	6.3	1	14.3
30～39日	0	0.0	0	0.0	1	14.3
40～49日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	0	0.0	2	12.5	1	14.3
不明・無回答	2	13.3	2	12.5	1	14.3

(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 26－1〕

現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が83.6%となっています。また、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が11.8%となっています。

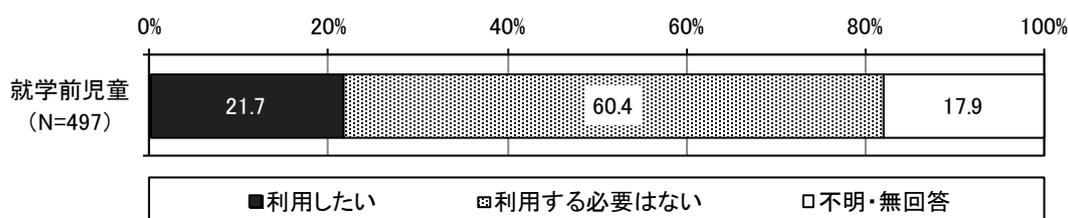
就学前児童(N=390)



(2) 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問27〕

不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が21.7%、「利用する必要はない」が60.4%となっています。

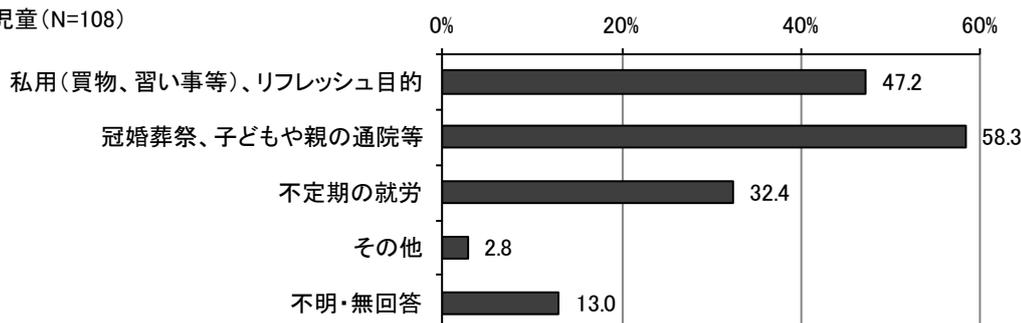
また、利用したい目的の内訳については、「冠婚葬祭、子どもや親の通院等」が58.3%、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が47.2%となっています。年間日数については、『その他』を除いたすべての項目で「10～19日」の割合が高くなっています。



* 事業の利用には、一定の利用料がかかる

①利用したい目的の内訳〈複数回答〉《「利用したい」を選んだ方》

就学前児童 (N=108)



②利用したい年間日数〈数量回答〉《「利用したい」を選んだ方》

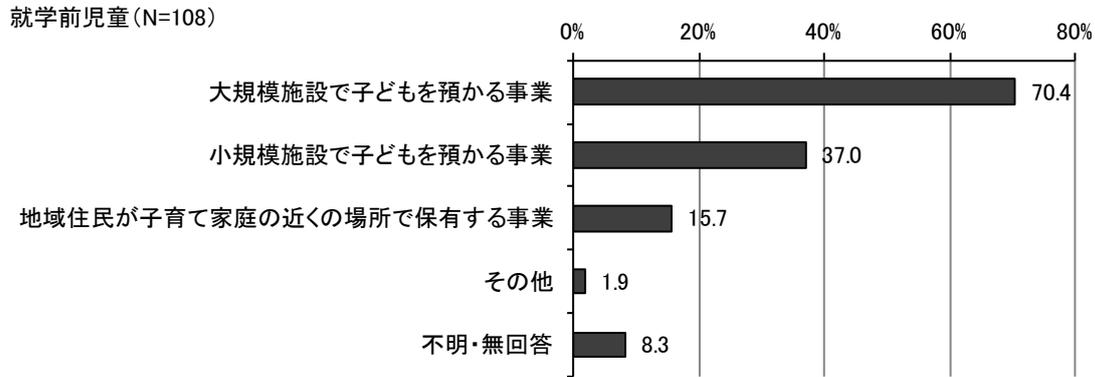
【就学前児童】 利用したい 日数	年間日数 N=108		私用（買物、習い事等）、 リフレッシュ目的 N=51		冠婚葬祭、子どもや 親の通院等 N=63		不規則の就労 N=35		その他 N=3	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	0.9	3	5.9	6	9.5	0	0.0	0	0.0
2日	5	4.6	7	13.7	4	6.3	1	2.9	0	0.0
3日	9	8.3	5	9.8	9	14.3	5	14.3	0	0.0
4日	2	1.9	0	0.0	2	3.2	2	5.7	0	0.0
5日	6	5.6	9	17.6	10	15.9	3	8.6	0	0.0
6日	7	6.5	3	5.9	2	3.2	2	5.7	0	0.0
7日	2	1.9	0	0.0	1	1.6	1	2.9	1	33.3
8日	2	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	25	23.1	16	31.4	17	27.0	7	20.0	1	33.3
20～29日	13	12.0	3	5.9	2	3.2	5	14.3	0	0.0
30～39日	3	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40～49日	2	1.9	1	2.0	0	0.0	3	8.6	0	0.0
50日以上	4	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
不明・無回答	27	25.0	3	5.9	10	15.9	6	17.1	0	0.0

(2)で「利用したい」を選んだ方

(2) - 1 (2) ①の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 27-1〕

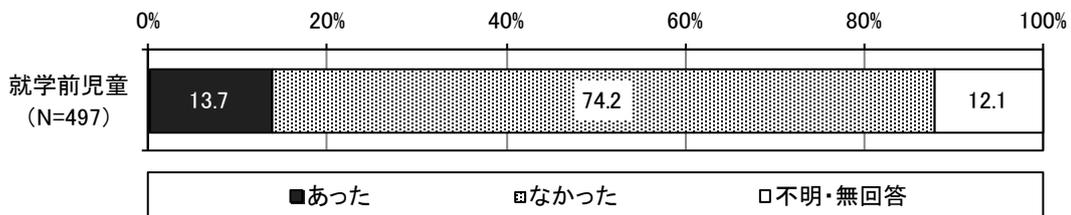
利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを預かる事業」が70.4%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」が37.0%となっています。



(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28〕

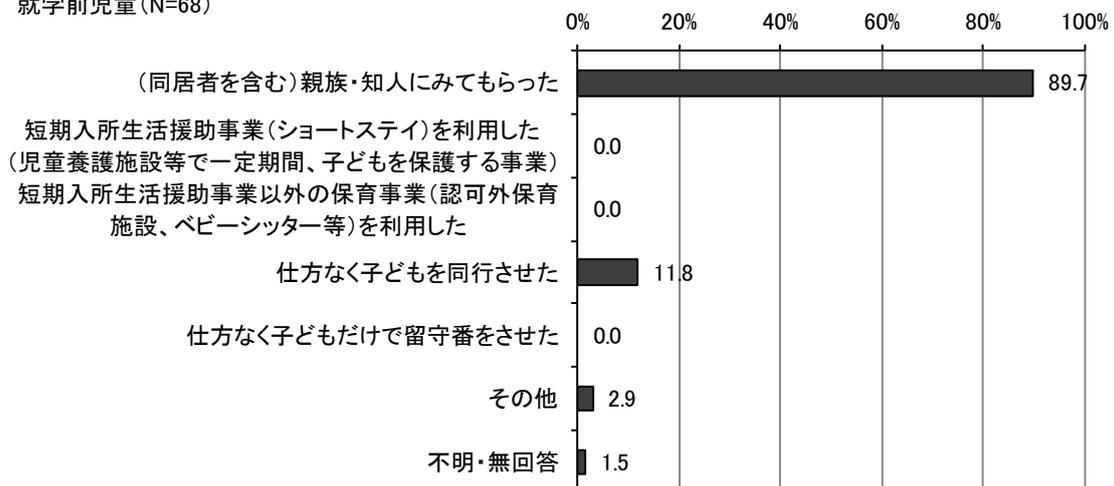
この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外に一時的に預けた経験の有無については、「あった」が13.7%、「なかった」が74.2%となっています。

対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が89.7%となっています。



① 1年間の対処方法〈複数回答〉《「あった」を選んだ方》

就学前児童(N=68)



子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、『(同居者を含む)親族・知人に預けた』、『仕方なく子どもを同行させた』で、「1泊」の割合が高くなっています。

②それぞれの日数〈数量回答〉《「あった」を選んだ方》

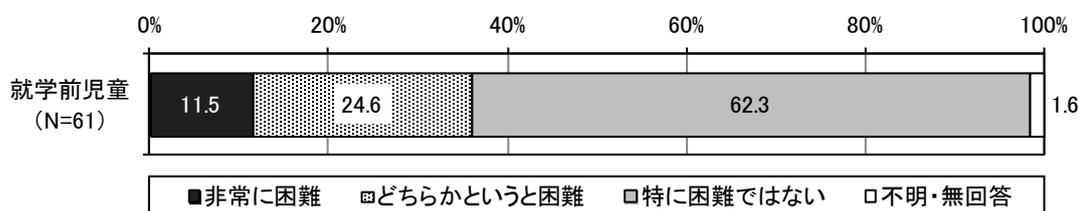
【就学前児童】 対応泊数	(同居者を含む)親族・ 知人にみてもらった N=61		仕方なく子どもを 同行させた N=8		その他 N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	16	26.2	4	50.0	0	0.0
2泊	13	21.3	1	12.5	0	0.0
3泊	4	6.6	1	12.5	0	0.0
4泊	6	9.8	0	0.0	1	50.0
5泊	5	8.2	0	0.0	0	0.0
6泊	2	3.3	0	0.0	0	0.0
7泊	2	3.3	0	0.0	0	0.0
8泊	2	3.3	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	8	13.1	0	0.0	1	50.0
不明・無回答	3	4.9	2	25.0	0	0.0

※「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」、「短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」ともに回答はありませんでした。

(3)で「親族・知人にみてもらった」を選んだ方

(3) - 1 その場合の困難度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28-1〕

親族・知人にみてもらった場合の困難度についてみると、「特に困難ではない」が62.3%と最も高くなっています。

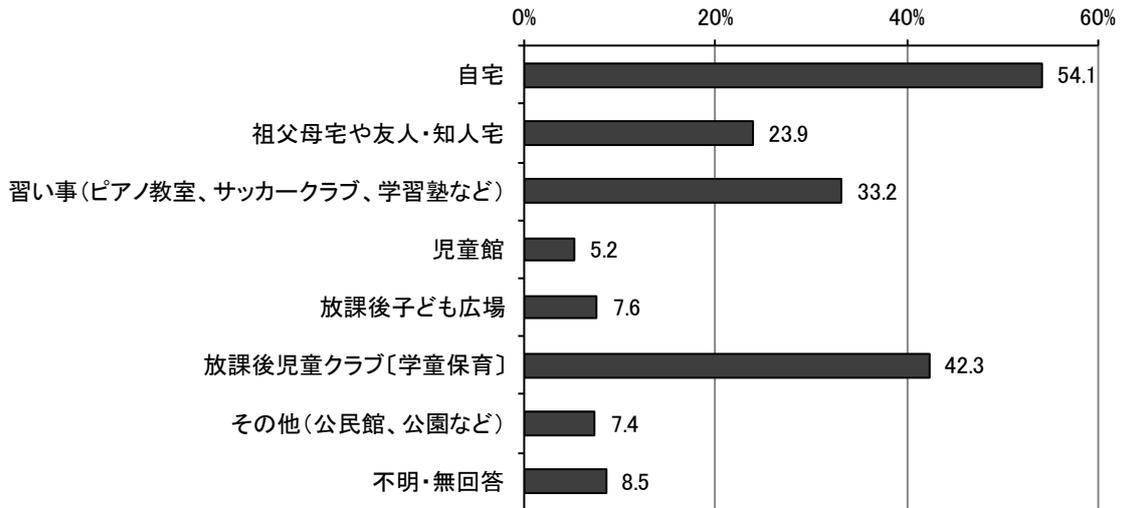


12 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）

（1）小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29〕

小学校低学年のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が54.1%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が42.3%となっています。

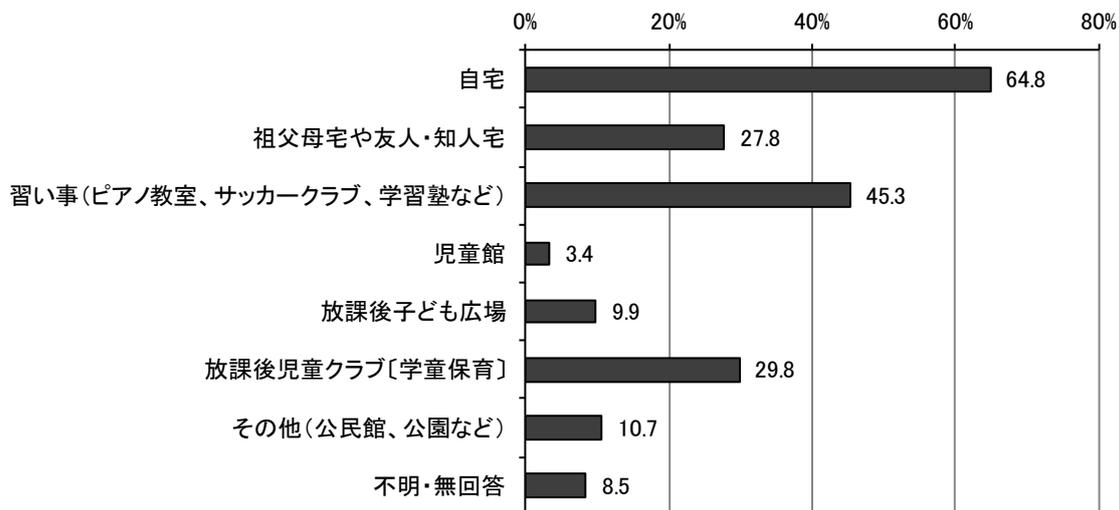
就学前児童(N=497)



(2) 小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問30〕

小学校高学年になったら、放課後(平日の小学校終了後)に過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が64.8%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が45.3%となっています。

就学前児童(N=497)



週あたりの利用希望日数については、『自宅』、『児童館』、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が最も高くなっています。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の利用希望時間では、「18時」が39.2%と最も高くなっています。

①週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【就学前児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ク 教 習 ど ラ 室 い 〜 ブ 、 事 、 サ (ピ 学 ツ ア 習 カ ノ 塾		児 童 館		場 放 課 後 子 ども 広		ブ 放 ハ 課 学 後 童 児 保 童 育 ク ラ		館 そ 、 の 公 他 園 (公 民 な ど 〜)	
	N=322		N=138		N=225		N=17		N=49		N=148		N=53	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	30	9.3	33	23.9	78	34.7	3	17.6	16	32.7	7	4.7	14	26.4
2日	64	19.9	39	28.3	95	42.2	1	5.9	15	30.6	18	12.2	15	28.3
3日	41	12.7	26	18.8	33	14.7	3	17.6	4	8.2	26	17.6	11	20.8
4日	25	7.8	2	1.4	1	0.4	0	0.0	3	6.1	7	4.7	1	1.9
5日	113	35.1	19	13.8	3	1.3	6	35.3	6	12.2	69	46.6	8	15.1
6日	4	1.2	2	1.4	1	0.4	1	5.9	0	0.0	4	2.7	0	0.0
7日	4	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	41	12.7	17	12.3	14	6.2	3	17.6	5	10.2	17	11.5	4	7.5

②「放課後児童クラブ」の利用希望時間

(下校時から何時まで)〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【就学前児童】 小学校高学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=148)	
	件数	%
15時以前	1	0.7
16時	1	0.7
17時	40	27.0
18時	58	39.2
19時	11	7.4
20時	1	0.7
不明・無回答	36	24.3

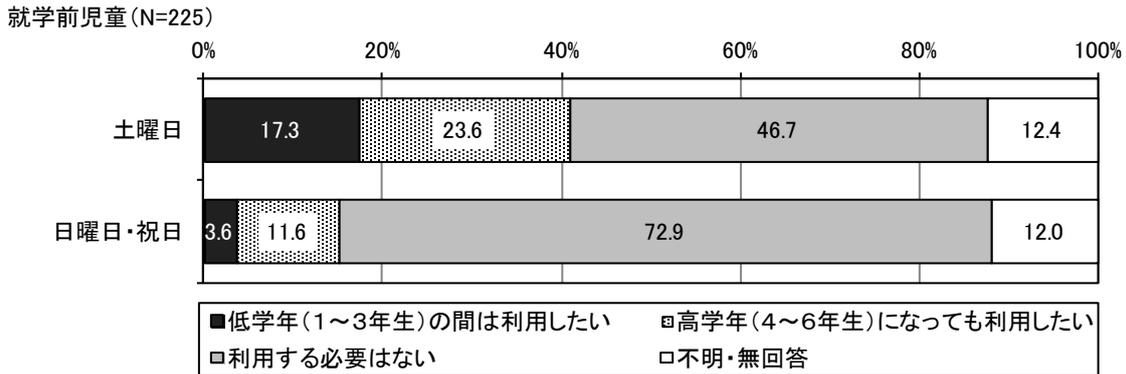
(2)、(3) で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方

(3) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問31〕

放課後児童クラブの、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ46.7%、72.9%となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間は「8時」、終了時間は「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



*事業の利用には、一定の利用料がかかる

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年(1~3年生)の間は利用したい」、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」を選んだ方》

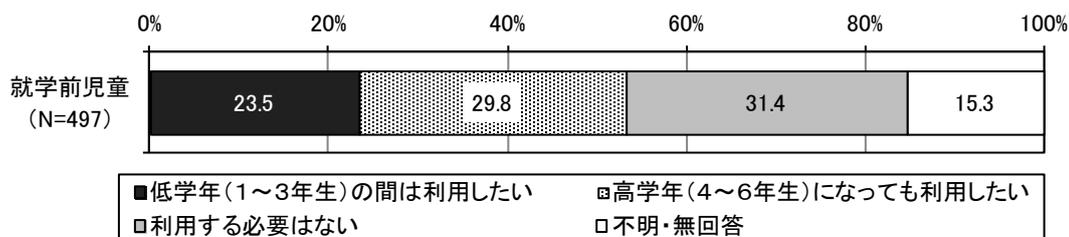
【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=92)		日曜日・祝日 (N=34)	
	件数	%	件数	%
7時	6	6.5	4	11.8
8時	56	60.9	21	61.8
9時	18	19.6	8	23.5
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時以降	6	6.5	0	0.0
不明・無回答	6	6.5	1	2.9

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=92)		日曜日・祝日 (N=34)	
	件数	%	件数	%
12時	3	3.3	0	0.0
13時	1	1.1	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	0	0.0	1	2.9
16時	3	3.3	2	5.9
17時	28	30.4	9	26.5
18時	46	50.0	15	44.1
19時	7	7.6	5	14.7
20時	1	1.1	1	2.9
不明・無回答	3	3.3	1	2.9

(4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 32〕

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する必要はない」が31.4%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が29.8%となっています。

希望する利用時間帯について、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



*事業の利用には、一定の利用料がかかる

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

開始時間	就学前児童 (N=265)	
	件数	%
6時前	1	0.4
7時	14	5.3
8時	146	55.1
9時	82	30.9
10時	4	1.5
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時以降	5	1.9
不明・無回答	13	4.9

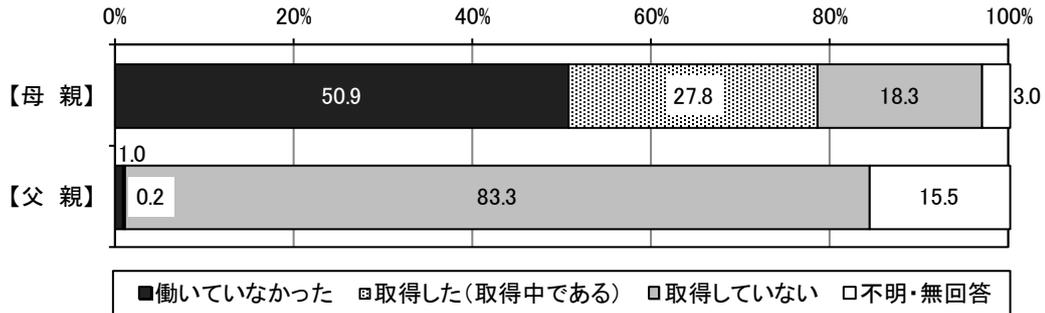
終了時間	就学前児童 (N=265)	
	件数	%
12時	3	1.1
13時	3	1.1
14時	1	0.4
15時	12	4.5
16時	35	13.2
17時	83	31.3
18時	102	38.5
19時	12	4.5
20時以降	2	0.8
不明・無回答	12	4.5

13 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）

（1）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33〕

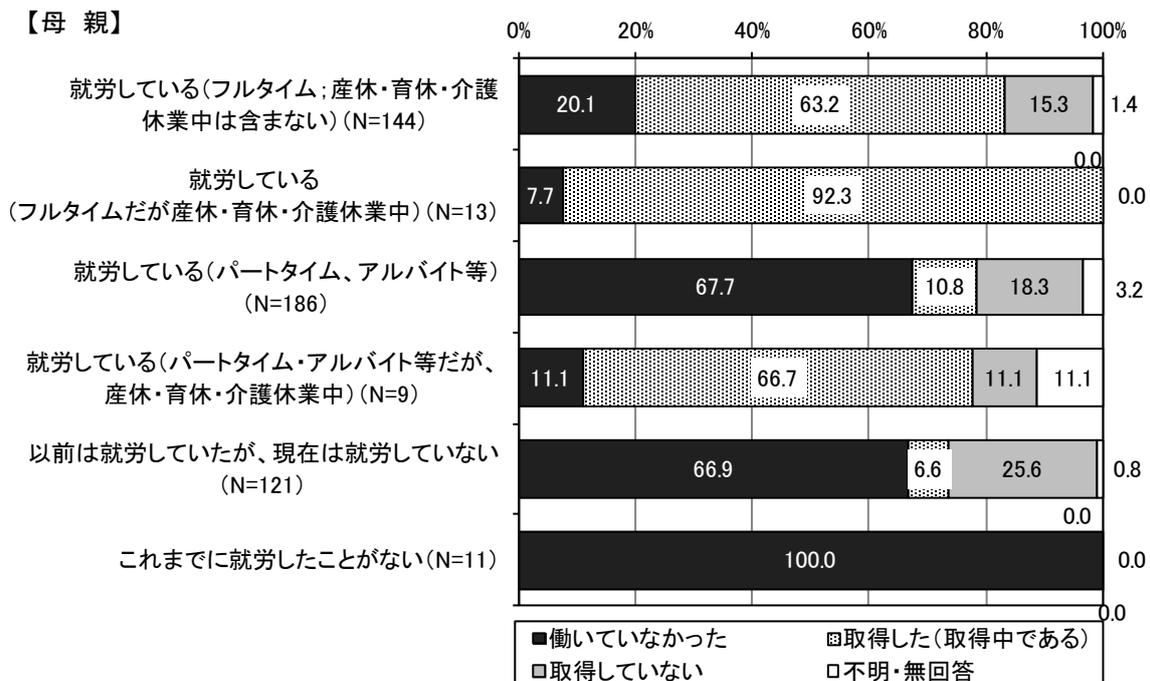
子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が50.9%、父親では「取得していない」が83.3%と、それぞれ最も高くなっています。また、母親の「取得した（取得中である）」が27.8%、父親では0.2%となっています。

就学前児童(N=497)



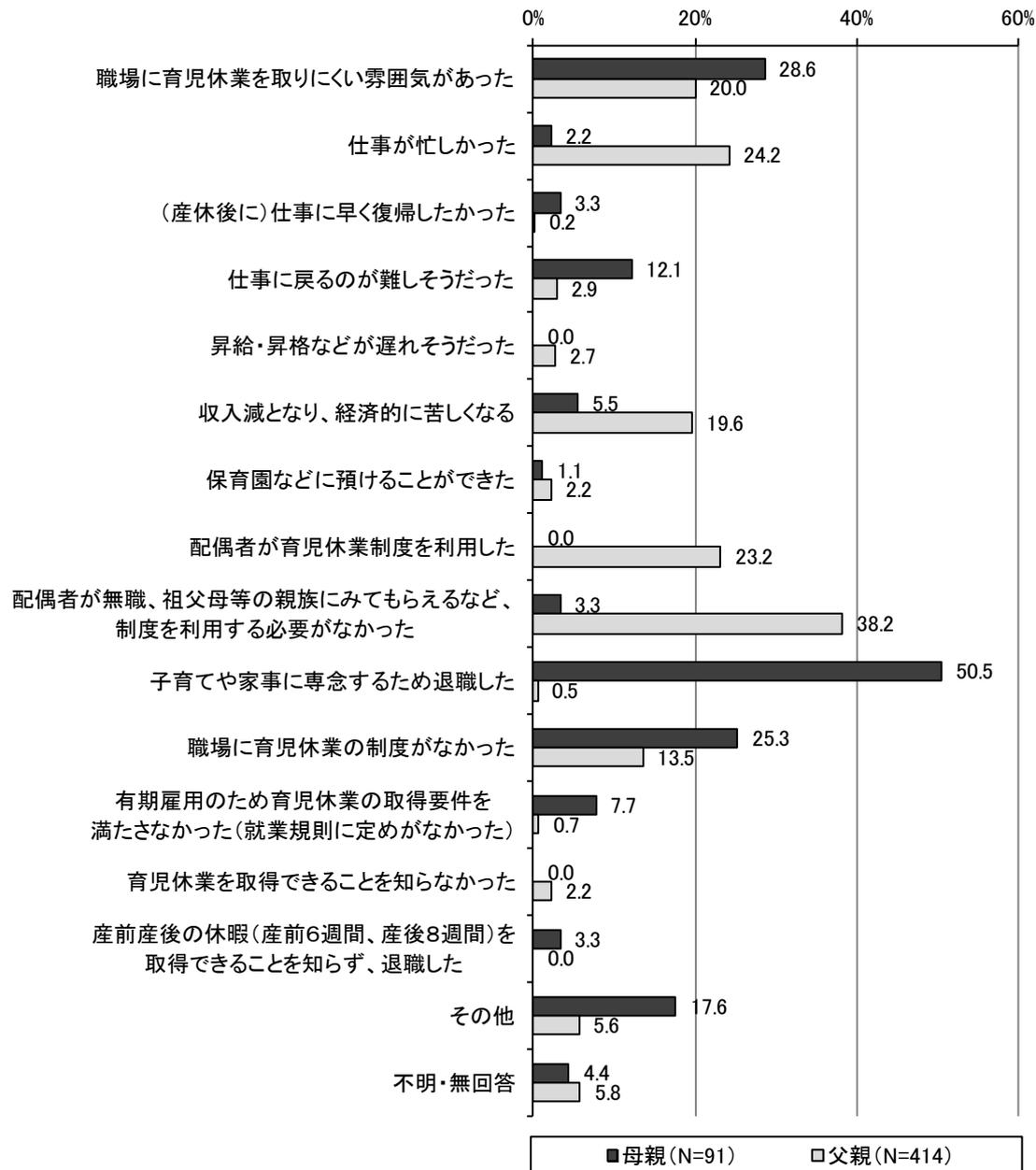
母親の就労状況別 × 育児休業取得状況

母親の就労状況をみると、[就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）]、[就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）]、[就労している（パートタイム、アルバイト等）] では、「取得した（取得中である）」の割合が6割を超えています。



育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が50.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が28.6%となっています。父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が24.2%となっています。また、母親では「職場に育児休業の制度がなかった」が25.3%となっています。

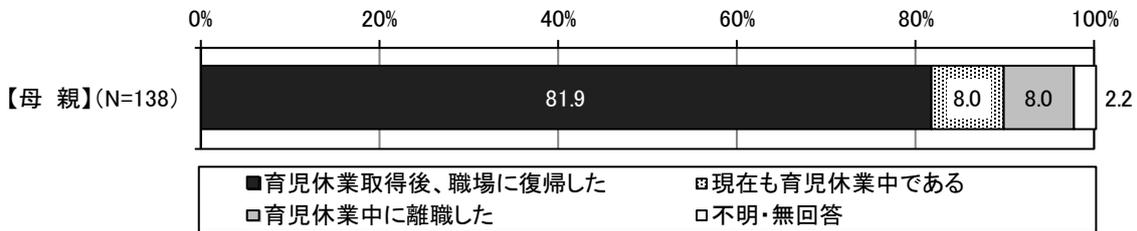
◎取得していない理由〈複数回答〉《「取得していない」を選んだ方》



(1)で「取得した(取得中である)」を選んだ方

(1)－1 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33－1〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が81.9%と大部分を占めています。

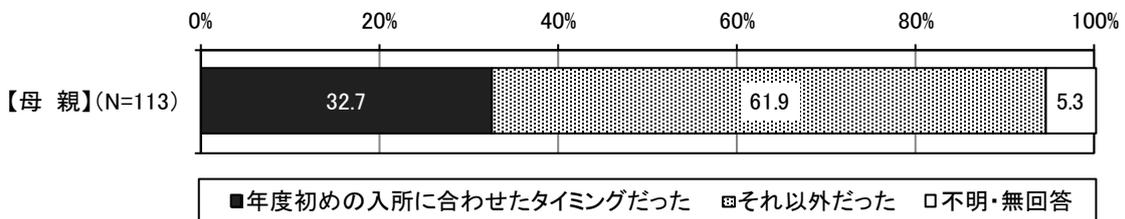


※【父親】「育児休業取得後、職場に復帰した」に1件の回答がありました。

(1)－1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(1)－2 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか
〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33－2〕

職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が32.7%、「それ以外だった」が61.9%となっています。

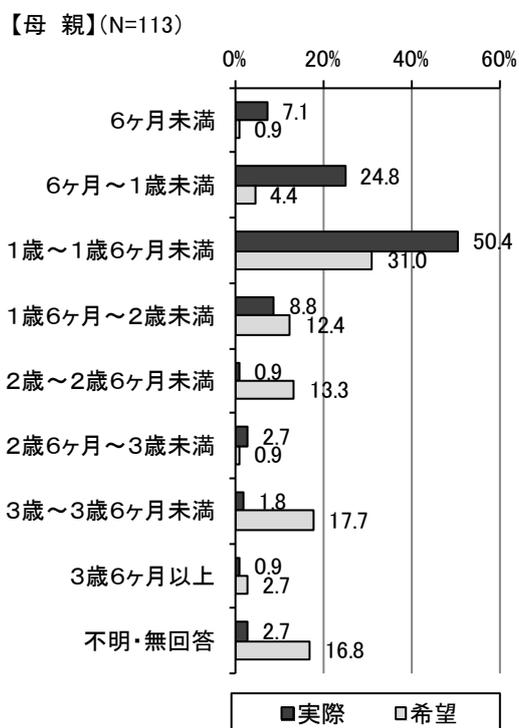


※【父親】「それ以外だった」に1件の回答がありました。

(1) - 3 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したか〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 33-3〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では「1歳～1歳6ヶ月未満」が50.4%と最も高くなっています。また、希望としては「1歳～1歳6ヶ月未満」が31.0%と最も高くなっています。

※【父親】実際では「6ヶ月未満」に1件、希望では「6ヶ月～1歳未満」に1件の回答がありました。

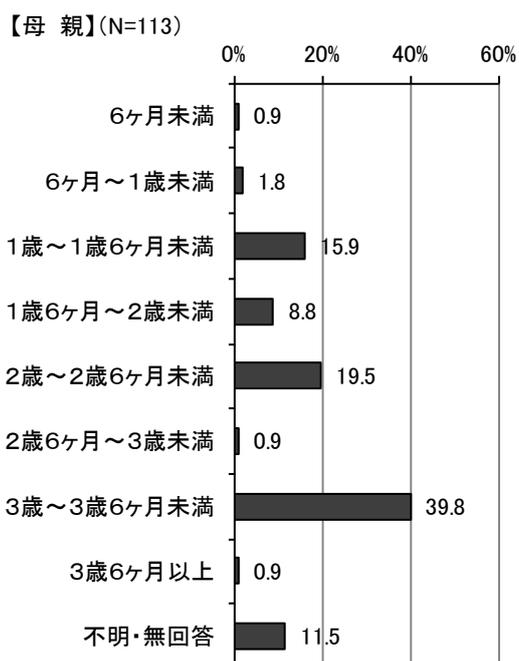


(1) - 4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したか〈数量回答〉

〔就学前児童調査…問 33-4〕

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかについてみると、母親では「3歳～3歳6ヶ月未満」が39.8%と最も高くなっています。

※【父親】「1歳～1歳6ヶ月未満」に1件の回答がありました。

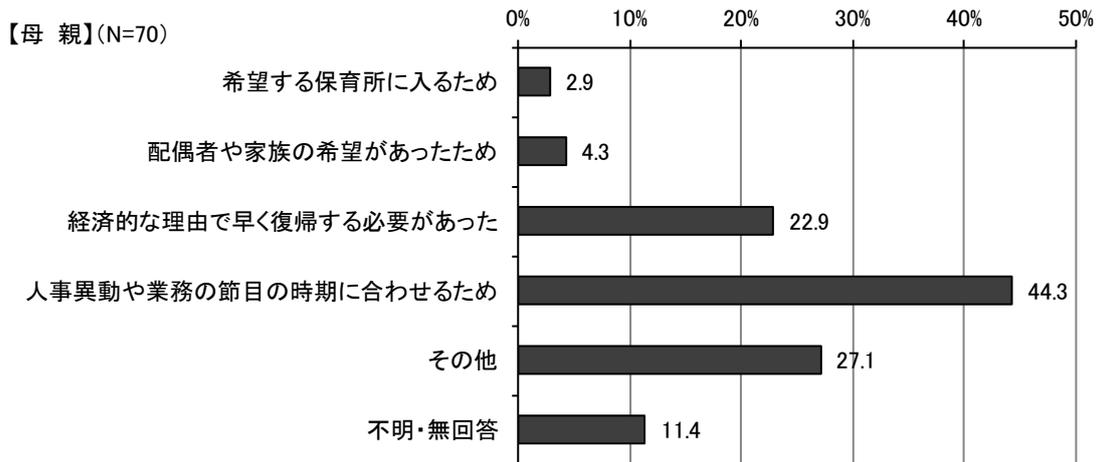


(1) - 3で実際の復帰と希望が異なる方

(1) - 5 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 33-5〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が44.3%と最も高くなっています。また、『希望』より遅く復帰した方では「職場の受け入れ態勢が整っていないため」が1件となっています。

①「希望」より早く復帰した方



※【父親】「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」に1件の回答がありました。

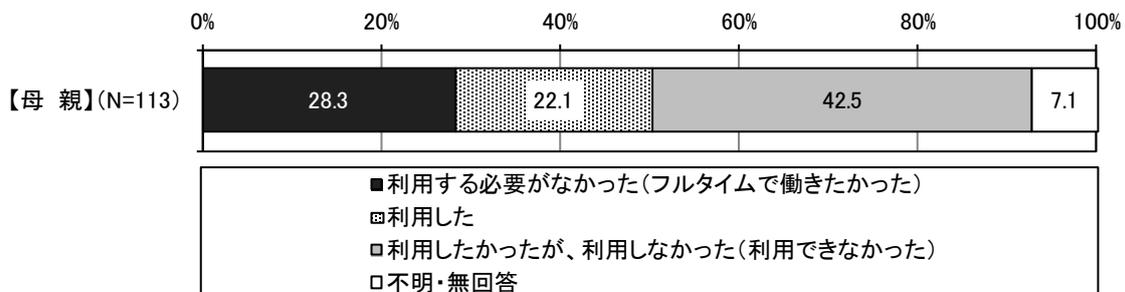
②「希望」より遅く復帰した方

※【母親】「職場の受け入れ態勢が整っていないため」、「その他」ともに1件の回答がありました。

※【父親】回答はありませんでした。

(1) - 6 職場復帰時の短期勤務制度の利用状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33-6〕

短期勤務制度の利用状況についてみると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が42.5%と最も高くなっています。



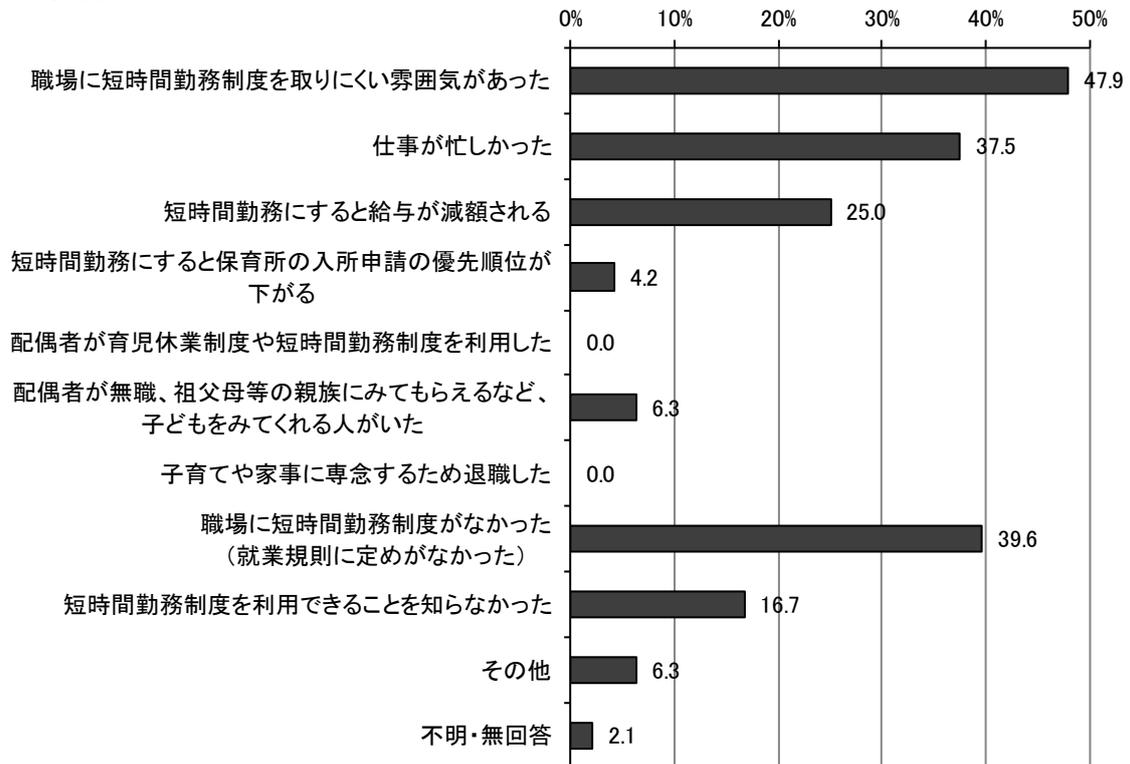
※【父親】「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった)」に1件の回答がありました。

(1) - 6で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方

(1) - 7 短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 33-7〕

短期勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が47.9%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が39.6%となっています。

【母親】(N=48)



※【父親】は回答がありませんでした。

(1) - 1で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(1) - 8 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33-8〕

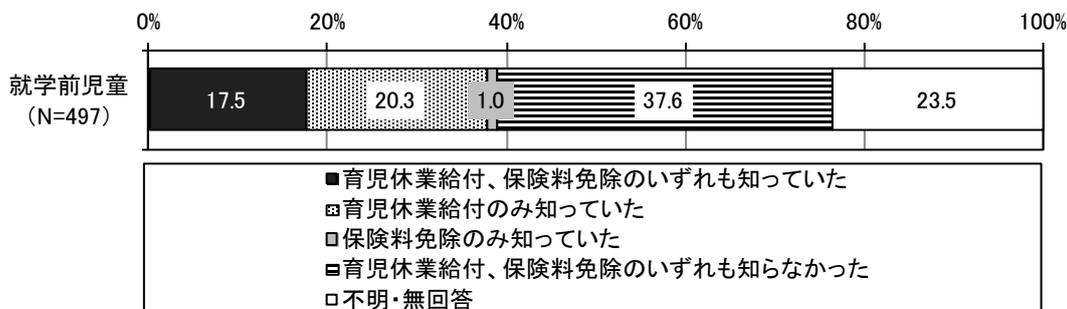
現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.9%となっています。

【母親】(N=11)	件数	%
1歳になるまで育児休業を取得したい	10	90.9
1歳になる前に復帰したい	0	0.0
不明・無回答	1	9.1

※【父親】は回答がありませんでした。

(2) 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 34〕

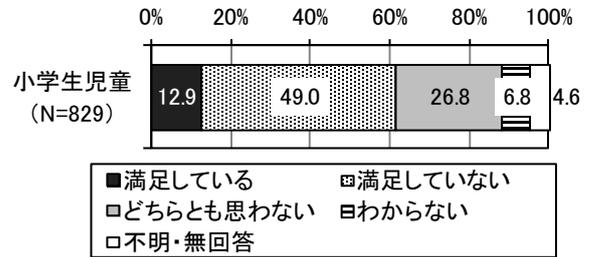
育児休業給付制度、育児休業保険料免除制度の認知度についてみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が37.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が20.3%となっています。



14 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について（小学生児童）

（１）居住地域における子どもの遊び場の満足度〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 23〕

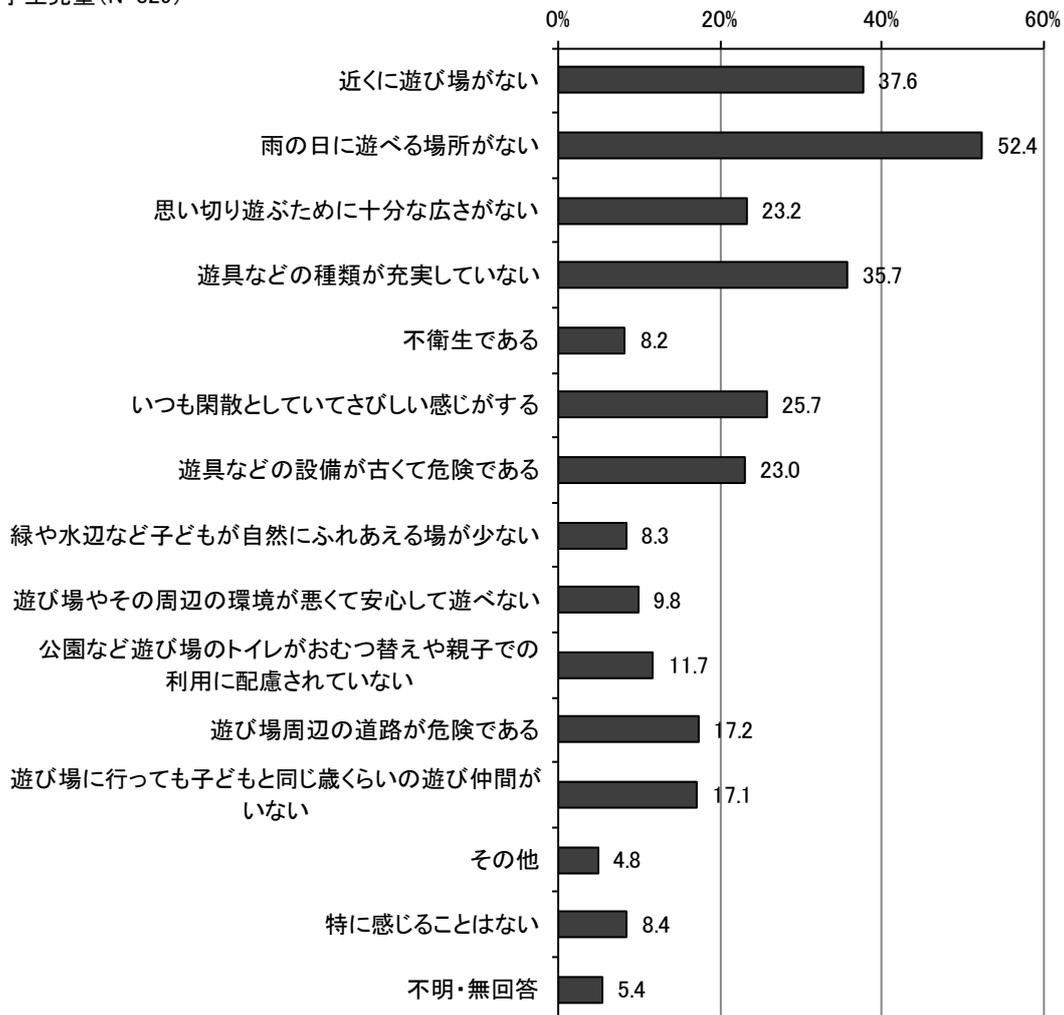
居住地域における子どもの遊び場の満足度についてみると、「満足していない」が49.0%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」が26.8%となっています。



（２）居住地域の子どもの遊び場について感じること〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 24〕

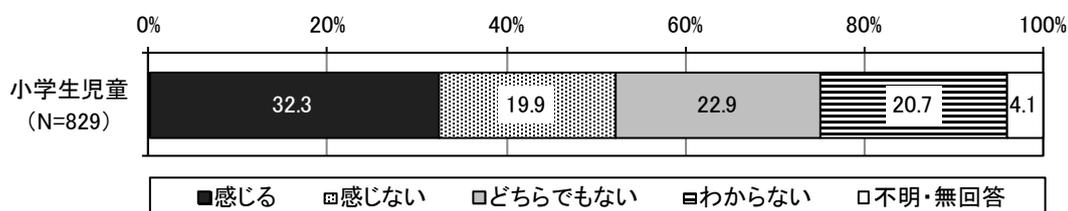
居住地域の子どもの遊び場で感じることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が52.4%と最も高く、次いで「近くに遊び場がない」が37.6%、「遊具などの種類が充実していない」が35.7%となっています。

小学生児童 (N=829)



(3) 居住地域で子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 25〕

居住地域で子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについてみると、「感じる」が32.3%、「どちらでもない」が22.9%となっています。



小学校区別 × 居住地域で子どもが巻き込まれる事故や犯罪の増加を感じるか

小学校区別についてみると、[杉原谷小学校]、[八千代南小学校] では「感じる」が4割となっています。

